

独立行政法人国立少年自然の家の平成15事業年度に係る業務の実績に関する評価[全体評価]

評価項目	評価の結果
事業活動	<p>・主催事業について 少年自然の家では、異年齢集団での長期にわたる冒険的な活動を通して子どもたちの自主性・主体性や社会性を育む「長期自然体験事業」、長期の移動キャンプ等を通して困難を乗り越え自分への自信や行動への積極性、社会性を育む「不登校等の児童・生徒を対象とした事業」、少年自然の家の豊かな自然や体験活動プログラムを生かした学校との連携による「総合的な学習の時間に対応した事業」「環境学習に対応した事業」など、少年自然の家の教育機能を発揮し、少年の体験活動の推進・充実に努め、成果を上げていることは、評価できます。また、事業成果や少年自然の家の教育機能の発信・普及のための公開シンポジウム等への取組や体系化に基づく指導者研修事業の充実に努めたことも、評価できます。今後は、引き続き小学校低学年を対象とした事業や「総合的な学習の時間」に対応した事業を一層充実するとともに、参加を促す丁寧な広報に努めていくことが望まれます。</p> <p>・受入事業について 少子化が進行する中で、目標の130万人を大きく上回る140万人を受入れるとともに、新規利用団体が41.3%であることは、学校や未利用団体への利用促進に努めた結果であると評価できます。今後は、一層、各施設のホームページの充実を図り、利用者の視点に立った情報提供を行うとともに、小・中学校の更なる利用の拡大を図ることが望まれます。</p>
業務運営	<p>・施設の連携体制について 法人本部と各施設の連携では、組織運営、人事管理、財務会計に関する庶務課長による各プロジェクトを立ち上げ、その検討結果を踏まえ、関連する諸規則の改正・制定や事務処理の一元化を進めるなど、次年度に向けた取組を行ったことは評価できます。また、各少年自然の家の連携による事業展開や本部への職員派遣研修制度など、連携体制、事務の効率化に成果がみられました。今後は、更に本部と各施設の連携はもとより、各施設間の連携協力を推進し、業務運営の効率化を図られることを期待します。</p>
1 財務	<p>・業務の効率化について 職員一人ひとりの節減への意識の徹底や利用者への協力依頼により、光熱水料とともに使用量の節減への取組に成果が見られました。今後も、引き続き節減への努力が望まれます。外部資金については、今後も、積極的な受入に努めることを期待します。また、1%の業務の効率化については、運営費交付金の効率的な執行に努めることが望まれます。</p>
2 人事	<p>・人事管理について 法人として、専門性の高い職員の養成・確保のため、新たにプロパー職員（準専門職員）7名を採用したこと、体系的な職員研修の一環としてニュージーランドでの長期海外実践研修に職員2名を派遣したことは高く評価できます。また、各少年自然の家の事業部門の強化を目指した組織機構の見直しや、本部への一層の事務の一元化を図るための職員の再配置などについて、平成16年度実施に向けて、プロジェクトにより検討を行ったことは評価できます。今後も、職員の採用に当たっては、幅広い分野からの人材の確保とともに、法人内における専門性の高い職員の計画的養成と各施設における適正な人員配置に向けて積極的な取組を期待します。</p>
3 その他	<p>・施設・設備等の整備について 限られた予算の中で、利用者の快適な食・住環境の確保や身障者等に対応した施設・設備の整備に着実に努めていることは評価できます。今後、施設の老朽化や新たなニーズに対応した施設の整備にあたっては、健康と環境に配慮するとともに、耐震補強に配慮した計画の推進が望まれます。また、受動喫煙防止対策への取組は、積極的に進めることを望みます。</p>

事業活動全体、業務運営（財務、人事等）など法人の業務全体にわたる横断的な観点から、項目別評価の結果を踏まえつつ、法人の業務実績について記述式により評価する。

評価項目	評価の結果
総評	<p>今日、都市化、核家族化、少子化、情報化の進展など、社会の急速な変化の中で、少年の様々な体験活動の不足により、本来、少年期に培われるべき自律性や対人関係能力、社会規範等の低下が指摘されています。</p> <p>国立少年自然の家は、普段家庭や学校では体験できない豊かな自然の中での生活体験や自然体験などの様々な体験活動の場と機会を少年たちに提供し、次代を担うたくましく心豊かな少年の育成を使命としています。</p> <p>国立少年自然の家は、「国立少年自然の家の使命」や「経営方針」を踏まえ、本部と各少年自然の家とが一体となって、少年の現代的課題に対応した先導的な事業や事業成果の発信・普及に努めるとともに、公開シンポジウムや本部と各少年自然の家との連携による専門性の高い広域的指導者研修事業等の新たな取組を行ったことは高く評価できます。</p> <p>また、法人として専門性の高い職員の計画的な養成のために、新たにプロパー職員（準専門職員）7名を採用するとともに、次年度の実施に向けて、各少年自然の家の事業強化のための組織機構の見直し、一層の事務一元化のための職員の再配置等、法人の事業推進体制の充実に向けた取組は評価できます。</p> <p>国立少年自然の家は、我が国における少年教育の中心的施設として積極的な業務運営を行い、少年の「生きる力」の育成に大きな貢献をしており、今後とも21世紀を担う少年の育成のため、「持続可能な開発のための教育の10年」国連決議を受けた環境教育の振興や体験機会の促進など、少年教育の先導的な役割を果たしていくことが大いに期待されます。</p>

項目別評価及び上記の横断的な評価を総合し、法人の活動全体についての総評を記述する。

独立行政法人国立少年自然の家の平成15事業年度に係る業務の実績に関する評価[項目別評価]

業務運営の効率化に関する事項

中期計画の各項目	評価項目		評価基準					評価に係る実績	評 定	
	指 標	A+	A	B	C	C-	A+ A B C C- 評定		留 意 事 項	
業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置										
1 全国に分散した施設を機能的に統合して連携体制を整備し、事務の集中管理による簡素化・効率化を図る。	施設の連携体制の状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。					<p>(1) 法人本部と各少年自然の家の連携協力による効率化の推進                      本年度は、これまでの連携体制を更に推進し、業務運営の効率化を図るための具体的な検討を行うとともに、各少年自然の家の連携協力による事業の取組に努めた。                      庶務課長等の実務者を構成員とする各プロジェクトを設置し、少年自然の家の組織運営・人事管理・財務会計等の諸課題について、具体的な検討を行った。                      組織運営に関するプロジェクト                      主な検討事項                      ・管理運営事務の一層の本部集中化・一元化                      ・本部集中化等に伴う職員の再配置                      ・各少年自然の家における事業部門の強化を目指した組織機構の見直し                      人事管理に関するプロジェクト                      主な検討事項                      ・非常勤職員の雇用についての見直し                      ・準専門職員の雇用形態に見合った評価・処遇の在り方                      ・今後の人事交流の在り方、人材確保のための方策                      財務会計に関するプロジェクト                      主な検討事項                      ・事務の標準化                      ・新たな自己収入の確保                      各プロジェクトの検討結果を踏まえ、関連する諸規則の改正・制定や準備事務を進め、平成16年度の実現に向けた取組を行った。                      各少年自然の家の連携協力による事業の取組                      活動プログラムの指導の在り方に関するプロジェクト                      ・主な検討事項 ・利用団体の利用のねらいに応じた柔軟な指導・助言の在り方                      「海の体験活動研究会」による活動プログラムの検討                      ・海型の3施設(若狭湾、室戸、大隅)が実施                      子どもの広域交流事業の実施                      ・国立少年自然の家8施設(日高、立山、曾爾、吉備、山口徳地、室戸、諫早、大隅)が実施                      職員の派遣による業務の支援                      ・台風10号による日高の水害復旧支援活動(全国の少年自然の家から職員34名が、復旧作業を行う。)                      ・第15回全国生涯学習フェスティバル                      &lt;法人本部及び3施設(夜須高原、諫早、大隅)から職員10名を派遣。&gt;                      ・職員研修派遣制度による連携協力                      少年自然の家から本部への業務協力 11施設 16名                      他の少年自然の家への業務協力 1施設 1名</p> <p>(2) 各少年自然の家における業務運営の標準化に向けた取組の推進                      旅費及び謝金の支給基準について、標準化に向けた検討                      法人本部と各少年自然の家の機能的統合のための諸規則の制定                      法人の諸規則の「規程」と「規則」の名称の統一及び種別毎の分類整理を行い、規則の廃止(40本)並びに制定(28本)を行った。</p> <p>(3) 事務の簡素化・効率化を図るための取組                      事務の簡素化・効率化を図るため、ホームページでの仮申込(7施設)や利用手続の簡略化(4施設)等を行った。</p>	A	法人本部と各施設の連携では、組織運営、人事管理、財務会計に関する庶務課長による各プロジェクトを立ち上げ、その検討結果を踏まえ、関連する諸規則の改正・制定や事務処理の一元化を進めるなど、次年度に向けた取組を行ったことは評価できます。 また、各少年自然の家の連携による事業展開や本部への職員派遣研修制度など、連携体制、事務の効率化に成果がみられました。 今後は、更に本部と各施設の連携はもとより、各施設間の連携協力を推進し、業務運営の効率化が図られることを期待します。	
事務の集中管理による簡素化・効率化状況										

A+ : 特に優れた実績を上げている。

A : 中期計画を十分に履行し、中期目標に向かって着実に成果を上げている。

B : 中期計画をほぼ履行し、中期目標に向かって概ね成果を上げている。

C : 中期計画を十分には履行しておらず、中期目標達成のためには業務の改善が必要である。

C- : 評価委員会として業務改善の勧告を行う必要がある。

中期計画の各項目	評価項目		評価基準					評価に係る実績	評価																																																					
	指標	A+	A	B	C	C-	A+A B C C- 評 定		留意事項																																																					
業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置																																																														
2 光熱水料の節減、外部委託、情報化、調達方法、支払窓口の一本化等の見直しを進める。	業務の効率化状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。					<p>国立少年自然の家は、全国に分散する14の少年の家を統合し、その統合法人としてのメリットを活かした効率的・効果的な運営が求められている。各少年自然の家は、その立地条件の違いから地域のニーズや主要活動プログラム、施設・設備、社会的基盤等、その運営を支える条件にも違いがあり、その立地条件を活かしつつ、効果的・効率的な施設運営を進めている。</p> <p>国立少年自然の家では、より効果的で効率的な運営ができるように、理事長が経営の方針を示し、成果や課題における各施設の業務実績について必要な情報を把握し、経営判断に必要なものを分析し、法人としての自己点検・評価を行っている。</p> <p>したがって、当部会としては、法人の自主性を尊重し、統合法人としてのメリットを活かした法人全体の努力を評価するスタンスを今後も継続していくこととしたい。</p>	B	<p>職員一人ひとりの節減への意識の徹底や利用者への協力依頼により、光熱水料とともに使用量の節減への取組に成果が見られました。</p> <p>今後も、引き続き節減への努力が望まれます。</p> <p>1%の業務の効率化については、運営費交付金の効率的な執行に努めることが望まれます。</p>																																																					
光熱水料の節減状況	<p>光熱水料については、少年自然の家の立地条件による施設設備の内容や利用者の稼働数並びに気候条件等により左右されるが、少年教育施設としての役割や利用者へのサービス低下を招くことがないように配慮しつつ効率的な運営に努めるとともに、職員一人ひとりの節減への意識の徹底を図った。</p> <p>〔光熱水料の支出実績額〕 上段：使用量、下段：支出実績額 節減率小数点第2位四捨五入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>14年度実績：A</th> <th>15年度実績：B</th> <th>差引(A-B)：C</th> <th>節減率 C/A*100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">電 気</td> <td>7,604,477 Kwh</td> <td>7,353,986 Kwh</td> <td>250,491 Kwh</td> <td>3.3 %</td> </tr> <tr> <td>137,320,083 円</td> <td>128,143,902 円</td> <td>9,176,181 円</td> <td>6.7 %</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水 道</td> <td>304,927 m3</td> <td>307,824 m3</td> <td>2,897 m3</td> <td>1.0 %</td> </tr> <tr> <td>45,106,725 円</td> <td>46,629,649 円</td> <td>1,522,924 円</td> <td>3.4 %</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガ ス</td> <td>12,641 m3</td> <td>10,056 m3</td> <td>2,585 m3</td> <td>2.0 %</td> </tr> <tr> <td>3,292,566 円</td> <td>2,687,544 円</td> <td>605,022 円</td> <td>18.4 %</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重 油</td> <td>1,496,963 ㍓</td> <td>1,460,358 ㍓</td> <td>36,605 ㍓</td> <td>2.4 %</td> </tr> <tr> <td>48,196,663 円</td> <td>50,577,779 円</td> <td>2,381,116 円</td> <td>4.9 %</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">灯 油</td> <td>270,712 ㍓</td> <td>257,595 ㍓</td> <td>13,117 ㍓</td> <td>4.8 %</td> </tr> <tr> <td>10,915,571 円</td> <td>10,727,451 円</td> <td>188,120 円</td> <td>1.7 %</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>244,831,608 円</td> <td>238,691,173 円</td> <td>6,140,435 円</td> <td>2.5 %</td> </tr> </tbody> </table>					区分	14年度実績：A			15年度実績：B	差引(A-B)：C	節減率 C/A*100	電 気	7,604,477 Kwh	7,353,986 Kwh	250,491 Kwh	3.3 %	137,320,083 円	128,143,902 円	9,176,181 円	6.7 %	水 道	304,927 m3	307,824 m3	2,897 m3	1.0 %	45,106,725 円	46,629,649 円	1,522,924 円	3.4 %	ガ ス	12,641 m3	10,056 m3	2,585 m3	2.0 %	3,292,566 円	2,687,544 円	605,022 円	18.4 %	重 油	1,496,963 ㍓	1,460,358 ㍓	36,605 ㍓	2.4 %	48,196,663 円	50,577,779 円	2,381,116 円	4.9 %	灯 油	270,712 ㍓	257,595 ㍓	13,117 ㍓	4.8 %	10,915,571 円	10,727,451 円	188,120 円	1.7 %	合 計	244,831,608 円	238,691,173 円	6,140,435 円	2.5 %
区分	14年度実績：A	15年度実績：B	差引(A-B)：C	節減率 C/A*100																																																										
電 気	7,604,477 Kwh	7,353,986 Kwh	250,491 Kwh	3.3 %																																																										
	137,320,083 円	128,143,902 円	9,176,181 円	6.7 %																																																										
水 道	304,927 m3	307,824 m3	2,897 m3	1.0 %																																																										
	45,106,725 円	46,629,649 円	1,522,924 円	3.4 %																																																										
ガ ス	12,641 m3	10,056 m3	2,585 m3	2.0 %																																																										
	3,292,566 円	2,687,544 円	605,022 円	18.4 %																																																										
重 油	1,496,963 ㍓	1,460,358 ㍓	36,605 ㍓	2.4 %																																																										
	48,196,663 円	50,577,779 円	2,381,116 円	4.9 %																																																										
灯 油	270,712 ㍓	257,595 ㍓	13,117 ㍓	4.8 %																																																										
	10,915,571 円	10,727,451 円	188,120 円	1.7 %																																																										
合 計	244,831,608 円	238,691,173 円	6,140,435 円	2.5 %																																																										
光熱水料の節減率 目標：1% (前年度光熱水料 - 当 該年度光熱水料) / 前 年度光熱水料 (注) 利用者数の増減 を勘案する	1.5% 以上	1.0% 以上	1.0% 未 満	1.0% 未 満	1.0% 未 満	<p>光熱水料の節減率： 平成14年度 244,831,608円 平成15年度 238,691,173円 節減率・・・2.5%；節減目標：1%</p> <p>(平成14年度光熱水料実績額 - 平成15年度光熱水料実績額) × 100 平成14年度光熱水料実績額 (244,831,608円 - 238,691,173円) × 100 2.5 % 244,831,608円</p>																																																								
外部委託の見直し状況	<p>外部委託については、法律に基づく業務や特殊な業務を除き、少年自然の家の効率化を図る観点から必要性の有無を十分に検討し、効率的な委託を推進した。特に既存の外部委託については、仕様内容の見直しとともに、競争による契約を推進した。</p> <p>平成15年度は、新規に14施設で10業務、26件の外部委託を行い、3施設で4業務の外部委託を廃止した。</p>																																																													

<p>事務の情報化の状況</p>		<p>本年度は、法人本部と各少年自然の家間における情報の共有化と情報ネットワークの改善について、下記の3項目を実施した。</p> <p>ア 法人としての重要な運営方針や共通の課題、各少年自然の家の先導的な取組事例等、共有すべき情報については、年3回実施した所長会議や所長と役員の懇談会、課長会議等において情報の共有に努めた。</p> <p>イ 理事長からの業務運営に関する方針や法人としての新たな取組、各少年自然の家の先導的な事業事例等法人の全職員が共有すべき情報は、法人内のイントラネット上の掲示板（フォーラム）を活用して、情報の共有化に努めた。</p> <p>ウ 法人内の文書発出については、電子メールを活用し、情報提供の迅速化、ペーパーレス化に努めた。</p>						
<p>物品の調達方法の改善状況 注)「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」への対応に配慮する</p>		<p>少年自然の家の業務に必要な物品等の調達では、規格及び数量、納入期限など条件にあった物品等を法人が定めた会計規程に基づき、迅速かつ効率的な調達に努めた。</p> <p>また、少年自然の家は、市街地から離れた場所にあるため、まとめ買い等により事務の停滞を防止する工夫を行った。</p> <p>調達における契約方法の改善 随意契約から競争契約に変更(1施設、3件) ボイラー運転及び保守管理業務、庁舎清掃業務、警備等業務</p> <p>まとめ買いによる調達の推進 14施設で市価よりも安価に調達可能なまとめ買いを実施した。 調達品目：コピー用紙、印刷用紙、トイレトーパー、蛍光灯、封筒、事務用消耗品等</p> <p>消耗品等の通信販売システムの活用 事務用消耗品を中心に市場価格と同等の価格で購入可能な物品を宅配便で配達する通信販売システムは発注した翌日に調達できることから、本部を含めて7施設で活用した。</p> <p>また、物品調達に際しては、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)」に基づく調達に努め、エコマーク等の情報の活用など、できる限り環境負荷の少ない物品の調達に努めた。</p>						
<p>1%の業務の効率化 目標：1% (運営費交付金予算額 ÷ 0.99 - 運営費 交付金決算額) ÷ (運営費交付金予算額 ÷ 0.99) 注) 新規・拡充分を除く 注) 目的積立金への積立分を除く</p>	<table border="1"> <tr> <td>1.5%</td> <td>1.5%</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>以上</td> <td>以上</td> <td>未満</td> </tr> </table> <p>文部科学省独立行政法人 評価委員会総会が示す統 一的な考え方</p>	1.5%	1.5%	1.0%	以上	以上	未満	<p>光熱水料の節減等、法人が一体となって業務運営の効率化を目指した結果、平成15年度は0.8%の業務の効率化を図ることができた。</p> <p>・目標：1% 平成15年度実績：0.8%</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <math display="block">\frac{(\text{運営費交付金予算額} \div 0.99 - \text{運営費交付金決算額}) \div (\text{運営費交付金予算額} \div 0.99)}{(4,115,086 \text{ 千円} \div 0.99 - 4,124,979 \text{ 千円}) \div (4,115,086 \text{ 千円} \div 0.99)}</math> </div> <p>なお、1%の業務の効率化目標を達成できなかったが、これは「事務の集中化、一元化に伴う国立少年自然の家本部事務室の改修等経費」(18,316千円)があったためである。</p>
1.5%	1.5%	1.0%						
以上	以上	未満						

国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

中期計画の各項目	評価項目					評価に係る実績	評 定																																																
	指 標	A <sup>+</sup>	A	B	C		A <sup>+</sup> A C <sup>-</sup> 評 定	留 意 事 項																																															
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置																																																							
1 少年の団体宿泊訓練に関する事項 ・主催事業 主催事業を計画するに当たり、継続事業においては、前回の事業の成果を踏まえ、継続していく必要性や事業のねらいを明確にする。新規事業においては、地域の実情に照らし、現代的課題とは何かについて、的確な情報を収集、調査分析を行い、その展開方法について各分野の専門家の意見を取り入れるなど、もっとも成果が上がるような計画を策定する。 また、計画策定に当たり、過去の同種の事業の参加人数や指導者の許容範囲を勘案しながら適性な事業規模とする。 事業終了後において、当初の目的が達成されたか、報告書を作成し、結果や評価等の調査研究を行う。 以上のことから中期目標期間中に、地域・課題等を考慮し、以下の主催事業を計画的に実施する。 (1)各施設の実情や立地条件等に基づいた、独自性を発揮した事業の企画、適切な目的・内容・方法・対象・時期などを踏まえた事業の実施、公立少年自然の家等に対する事業内容・運営手法などの成果の普及、事業評価に基づく課題の改善などを促す。 また、自然体験活動、ボランティア活動、環境学習、異年齢交流など、適切な手法で事業の目的を達成するよう促す。 なお、事業の効果をより高めるために、施設周辺の自然環境の活用、関係機関等との連携、地域の課題への対応などにも留意を促す。 (2)平成14年度から実施の完全学校週5日制に対応するため、これまでの学校週5日制対応事業の成果をまとめ、平成14年度以降の学校週5日制対応事業について、その在り方を検討し、検討結果に沿って実施し、その成果を公立少年自然の家等に普及する。 (3)調査研究・開発体制を整え、新しい活動・プログラムの開発・実施・普及計画を立て、新規プログラムを開発し公立少年自然の家等に普及する。 (4)主催事業参加者から高い評価が得られるよう、各施設において事業の企画、参加者への対応等が適切に行われるよう促す。	主催事業の実施状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。	〔主催事業における評価の視点〕 (1)事業の企画・立案段階に関しての評価 継続事業：前回の事業内容の分析とその成果や課題を踏まえた改善状況 新規事業：ニーズの把握、的確な情報の収集・分析を通じた現代的課題に対応する事業の企画状況 専門家等からの意見の聴取と専門性の高い事業の実施状況 (2)事業の実施・展開段階での評価 関係機関・団体との連携による事業展開の状況 効果的・効率的な事業運営 広報の適切性 (3)「事業の成果」に関する評価 平成14年度の「自己点検・評価」における課題への対応 事業のねらい・目的の達成状況 参加者の満足度(80%以上) 適切な定員による事業の実施 費用対効果の検討 事業成果の普及の取組み 改善すべき課題等の把握			A	少年自然の家では、異年齢集団での長期にわたる冒険的な活動を通して子どもたちの自主性・主体性や社会性を育む「長期自然体験事業」、長期の移動キャンプ等を通して困難を乗り越え自分への自信や行動への積極性、社会性を育む「不登校等の児童・生徒を対象とした事業」、少年自然の家の豊かな自然や体験活動プログラムを生かした学校との連携による「総合的な学習の時間に対応した事業」「環境学習に対応した事業」など、少年自然の家の教育機能を発揮し、少年の体験活動の推進・充実に努め、成果を上げていることは、評価できます。 また、事業成果や少年自然の家の教育機能の発信・普及のために公開シンポジウム等に取り組んだことも、評価できます。 今後は、引き続き小学校低学年を対象とした事業や「総合的な学習の時間」に対応した事業を一層充実するとともに、参加を促す丁寧な広報に努めていくことが望まれます。																																																
	現代的課題、今日的な少年教育に関する事業への取組状況	国立少年自然の家では、少年の現代的課題に対応した事業や施設の特徴・立地条件を生かした事業など、多様な事業を実施した。 具体的には、異年齢集団での長期にわたる冒険的な活動を通して子どもたちの自主性・主体性や社会性を育む「長期自然体験事業」、長期の移動キャンプ等を通して困難を乗り越え自分への自信や行動への積極性、社会性を育む「不登校等の児童・生徒を対象とした事業」、少年自然の家の豊かな自然や体験活動プログラムを生かした学校との連携による「総合的な学習の時間に対応した事業」「環境学習に対応した事業」など、少年自然の家の教育機能を発揮し、少年の体験活動の推進・充実に努めた。(詳細は別添資料P1～14)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業内容</th> <th>事業数</th> <th>参加者数</th> <th>満足度(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">少年の現代的な課題等に対応した事業</td> <td>63</td> <td></td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">取組状況</td> <td>ア.「長期自然体験活動」</td> <td>(16)</td> <td rowspan="8">5,219</td> <td rowspan="8"></td> </tr> <tr> <td>イ.「不登校児童・生徒等」</td> <td>(9)</td> </tr> <tr> <td>ウ.「学校教育における総合的な学習の時間」</td> <td>(9)</td> </tr> <tr> <td>エ.「障害児(者)を対象とし、ノーマイゼーション等を目的」</td> <td>(9)</td> </tr> <tr> <td>オ.「環境教育・環境学習」</td> <td>(3)</td> </tr> <tr> <td>カ.「国際理解・国際交流」</td> <td>(2)</td> </tr> <tr> <td>キ.「科学する心を育む」</td> <td>(7)</td> </tr> <tr> <td>ク.「異文化理解・交流」</td> <td>(8)</td> </tr> <tr> <td>施設の特徴・立地条件を生かした事業</td> <td>28</td> <td>1,673</td> <td>89.4</td> </tr> <tr> <td>学校との密接な連携による事業</td> <td>10 (10)</td> <td>2,072 (2,072)</td> <td>93.9</td> </tr> <tr> <td>その他少年の健全育成を図るための事業</td> <td>12</td> <td>3,354</td> <td>89.4</td> </tr> <tr> <td>保護者を対象とした事業</td> <td>4 (1)</td> <td>126 (23)</td> <td>93.4</td> </tr> <tr> <td>公開シンポジウム等による発信・普及事業</td> <td>6 (1)</td> <td>1,864 (1,130)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>( )は再掲</p>	事業内容		事業数	参加者数	満足度(%)	少年の現代的な課題等に対応した事業		63		92.0	取組状況	ア.「長期自然体験活動」	(16)	5,219		イ.「不登校児童・生徒等」	(9)	ウ.「学校教育における総合的な学習の時間」	(9)	エ.「障害児(者)を対象とし、ノーマイゼーション等を目的」	(9)	オ.「環境教育・環境学習」	(3)	カ.「国際理解・国際交流」	(2)	キ.「科学する心を育む」	(7)	ク.「異文化理解・交流」	(8)	施設の特徴・立地条件を生かした事業	28	1,673	89.4	学校との密接な連携による事業	10 (10)	2,072 (2,072)	93.9	その他少年の健全育成を図るための事業	12	3,354	89.4	保護者を対象とした事業	4 (1)	126 (23)	93.4	公開シンポジウム等による発信・普及事業	6 (1)	1,864 (1,130)	—			
事業内容		事業数	参加者数	満足度(%)																																																			
少年の現代的な課題等に対応した事業		63		92.0																																																			
取組状況	ア.「長期自然体験活動」	(16)	5,219																																																				
	イ.「不登校児童・生徒等」	(9)																																																					
	ウ.「学校教育における総合的な学習の時間」	(9)																																																					
	エ.「障害児(者)を対象とし、ノーマイゼーション等を目的」	(9)																																																					
	オ.「環境教育・環境学習」	(3)																																																					
	カ.「国際理解・国際交流」	(2)																																																					
	キ.「科学する心を育む」	(7)																																																					
	ク.「異文化理解・交流」	(8)																																																					
施設の特徴・立地条件を生かした事業	28	1,673	89.4																																																				
学校との密接な連携による事業	10 (10)	2,072 (2,072)	93.9																																																				
その他少年の健全育成を図るための事業	12	3,354	89.4																																																				
保護者を対象とした事業	4 (1)	126 (23)	93.4																																																				
公開シンポジウム等による発信・普及事業	6 (1)	1,864 (1,130)	—																																																				
	アンケート調査による参加者の満足度 目標：80%以上	90%以上	80%以上	80%未満		91.6%																																																	

学校週5日制対応事業  
についての取組状況

土・日に、子どもたちに豊かな自然の中での様々な体験活動の機会を提供するとともに、家族が共通の体験活動を通して、家族のふれあいや絆を深めることをねらいとした「学校週5日制対応事業」及び地域の人々やこれまで少年自然の家をあまり知らない方々に少年自然の家の活動プログラムや少年自然の家の取組を体験・理解してもらうための「施設開放事業」等、シリーズでの事業を含め75事業実施した。  
( 詳細は別添資料 P 15 ~ 19 )

取組状況	・四季折々の自然を生かした年間を通しての事業、家族共同での作る・育てる・収穫する等の事業、家族間の交流を促進するプログラム等、多様な事業展開に努めた。 ・「学校週5日制対応事業」では、各少年自然の家とも参加者同士が交流できるゆとりのあるプログラムの設定や自然の中で活動する楽しさを知るプログラム等を工夫することができた。 ・新規事業では、これまで少年自然の家の休業日であった年末年始を利用して、正月行事にちなんだ日本の伝統的な活動を取り入れた事業を実施し、新たな外部の専門家の発掘や活動プログラムの開発に努めた。
	参加人数 27,319人 (前年度比 1,657人増)

アンケート調査による参加者の満足度  
目標：80%以上

90%以上  
80%以上  
90%未満  
80%未満

93.1%

プログラムの開発及び普及状況

教育効果の検証に関する実証的な調査研究は、長期自然体験事業が参加者に及ぼす効果、障害のある子どもへの体験活動の在り方や支援方策、水辺活動の「生きる力」に与える効用等をテーマとして、9施設が15の調査研究を実施した。  
( 詳細は別添資料 P 20 ~ 22 )

取組状況	事業プログラムの開発	事業数
	教育効果に関する実証的な調査研究プログラム	15
状況	事業プログラムの開発	29
	調査研究	
<p>・教育効果の検証に関する実証的な調査研究は、長期自然体験事業が参加者に及ぼす効果、障害のある子どもへの体験活動の在り方や支援方策、水辺活動の「生きる力」に与える効用等をテーマとして9施設が15の調査研究を実施した。</p> <p>・事業プログラムの開発では、総合的な学習の時間、長期自然体験活動、障害児、不登校、歴史・文化等をテーマとして、全施設が29の事業プログラムを開発した。</p> <p>・調査研究では9施設、事業プログラムの開発では全施設が、学識経験者、学校教員、民間教育事業者、関係機関等からの構成員による研究委員会や企画委員会を組織し、事業に取り組んだ。</p>		

事業成果及び調査研究の  
取りまとめ状況と関係  
機関への普及状況

主催事業や調査研究を通して得た成果は、「主催事業実施報告書」「調査研究報告書」として取りまとめを行い、その成果を公立少年自然の家、県市町村の教育委員会、その他教育関係機関等に広く配付し、普及に努めた。

事業成果・調査研究の取りまとめ状況

事業成果報告書等	報告書	刊行部数
ア 主催事業実施報告書	37	83,185
イ 調査研究報告書	13	10,150
合 計	50	93,335

調査研究報告書の内容

施設名	報告書名	冊数
日高	シシリムカ(ボランティア登録制度、ボランティア学習、長期自然体験事業)	200
花山	ふれあい新発見冒険隊報告書	500
信州高遠	少年期に必要な体験活動と指導のあり方	2,000
妙高	冬の活動ハンドブック	500
立山	「豊かな森からの発信!こちら立山エコセンター『総合的な学習の時間のプログラム開発』その1」	1,150
若狭湾	総合的な学習に向けて海に学ぶ自然体験プログラム	250
吉備	吉備自然体験カワセミクラブ	1,900
室戸	報告書「学社融合推進調査事業」	1,700
夜須高原	海の自然体験活動研究会報告書	1,000
大隅	施設内ビオトープに関する調査・研究	50
	こどもの城を使った活動プログラムの紹介	100
大隅	チャレンジ・ザ・キャンプ	300
	「総合的な学習の時間」に活用できるプログラム事例集	500

2 少年の団体宿泊訓練のための利用に供するとともに、少年の団体宿泊訓練についての指導及び助言に関する事項  
・受入れ事業

(1)施設を、少年の健全育成を目的として学校、団体、グループなどが実施する、少年及び少年教育に携わる指導者を対象とした団体宿泊訓練のための利用に供する。

(2)広報活動を積極的に行い、これまで青少年教育施設を利用したことのない団体を受け入れる。

(3)公立施設では受入れが困難な大規模（200人超）利用・長期利用（5日以上）及び新規団体の利用などにも配慮しつつ、毎年度130万人程度の利用者を受け入れる。

(4)利用団体が利用目的を達成するために必要な指導・助言の在り方を検討し、事前の利用相談等において適切な指導・助言を行い、全利用団体の最低70%を超える利用 団体が目的を達成するよう事業を行う。

(5)少年自然の家職員に対し、指導能力向上、企画能力向上、接遇の向上など、施設内外での研修機会を与える。

(6)利用団体の活動支援のための外部研修指導員、施設利用者に対して様々な援助を行うボランティアなどの確保及び資質・指導力向上のための研修機会を設け、利用団体のニーズに即した支援を行う。

受入れ事業の実施状況

年間の稼働数  
目標：130万人程度

143万人以上	130万人以上	130万人未満
	143	

・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。

「受入れ事業における評価の視点」  
年度内の目標稼働数の確保（130万人程度） 指導・助言に対する利用者の満足度（70%以上） 利用目的の達成度（70%以上） 新規団体の利用促進と広報活動の実施状況 利用者サービスの向上と職員研修の状況 利用団体の活動を支援する人材の確保と資質向上の研修状況 利用者の視点に立った改善状況（中期目標期間中の全国の学校利用割合＜法人としての目標値＞）  
小学校・中学校・特殊教育諸学校：各10%以上

目標：130万人程度  
平成15年度の稼働状況は、目標である130万人程度を上回り、140万人であった。なお、利用団体を対象別にみると、75.7%が、「小学校」「中学校」「盲・聾・養護学校」の児童生徒、及び「青少年団体・グループ」「青少年教育施設・社会教育関係団体」「家族」など、少年及び少年教育関係者である。

月別稼働数・利用団体数

	稼働数	団体数		稼働数	団体数
4月	137,262	1,194	10月	119,722	1,365
5月	179,195	1,912	11月	63,699	1,032
6月	152,674	1,628	12月	27,411	624
7月	187,430	2,122	1月	55,909	818
8月	219,520	2,680	2月	69,206	1,071
9月	121,151	1,417	3月	72,521	1,177
			合計	1,405,700	17,040

平成14年度稼働数1,392,864人  
団体数17,244  
平成15年度稼働数1,405,700人  
団体数17,040  
稼働数の増12,836人  
(前年度比0.9%の増)

施設別稼働数・利用団体数

施設名	稼働数	団体数	施設名	稼働数	団体数
日高	87,445	999	曾爾	115,034	1,342
花山	81,731	1,075	吉備	100,722	1,020
那須甲子	162,405	1,762	山口徳地	92,325	1,630
信州高遠	103,647	1,189	室戸	67,209	935
妙高	112,670	1,276	夜須高原	133,937	1,601
立山	87,094	1,099	諫早	110,180	1,095
若狭湾	79,287	822	大隅	71,964	1,195
			合計	1,405,700	17,040

新規利用団体受入れに対する取組状況

- (1)新規利用団体の実績  
新規利用団体は、17,040団体中、7,041団体であり、全利用団体の41.3%である。
- (2)利用促進のための資料の作成・送付  
・地域の関係機関・団体へのパンフレット送付（13施設）  
・利用対象に応じた広報資料の作成（12施設）  
・新規利用が見込まれる団体へのパンフレット及び利用の手引きの送付（12施設）
- (3)広報活動の展開  
・施設開放事業の実施（全施設）  
・職員の直接訪問による広報（全施設）  
・地域情報紙への記事掲載やTV、新聞、ラジオ等による広報活動を実施（13施設）  
・地域の研修会等での事例紹介や発表（13施設）

B

少子化が進行する中で、目標の130万人を大きく上回る140万人を受入れるとともに、新規利用団体が41.3%であることは、学校や未利用団体への利用促進に努めた結果であると評価できます。  
今後は、一層、各施設のホームページの充実を図り、利用者の視点に立った情報提供を行うとともに、小・中学校の更なる利用の拡大を図ることが望まれます。

<p>指導・助言に対する満足度 目標：70%以上</p>	<p>80%以上</p>	<p>70%以上 80%未満</p>	<p>70%未満</p>	<p>事前打合せ等の指導・助言に対する満足度</p> <table border="1" data-bbox="857 113 1317 231"> <tr> <td colspan="3">事前打合せを実施された場合、今回の利用に生かされましたか。 回収数 8,677</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>とても生かされた</td> <td rowspan="2">93.8%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>生かされた</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>あまり生かされなかった</td> <td rowspan="2">6.2%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全く生かされなかった</td> </tr> </table>	事前打合せを実施された場合、今回の利用に生かされましたか。 回収数 8,677			満足	とても生かされた	93.8%		生かされた	不満	あまり生かされなかった	6.2%		全く生かされなかった																																	
事前打合せを実施された場合、今回の利用に生かされましたか。 回収数 8,677																																																		
満足	とても生かされた	93.8%																																																
	生かされた																																																	
不満	あまり生かされなかった	6.2%																																																
	全く生かされなかった																																																	
<p>アンケート調査による利用者の満足度 目標：70%以上</p>	<p>80%以上</p>	<p>70%以上 80%未満</p>	<p>70%未満</p>	<p>平成13年度の法人化以来、各施設とも、利用者のアンケート結果、専門家・地域住民との懇談会等の意見を踏まえ、利用者のサービスの向上や施設・設備の改善・充実のための業務運営の見直しを行っている。その結果、「生活面に対する満足度(91.4%)」「活動面に対する満足度(91.2%)」「職員に対する満足度(93.3%)」「利用目的の達成度(93.6%)」と14施設全体の平均で高い満足度が得られた。なお、各項目に対する「不満」についてはアンケートを詳細に分析し、改善に努めている。</p>																																														
				<p>生活面に対する満足度</p> <table border="1" data-bbox="857 389 1153 555"> <tr> <td colspan="3">少年自然の家の生活はいかがでしたか 回収数 9,686</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">満足</td> <td>とても良い</td> <td rowspan="2">91.4%</td> </tr> <tr> <td>良い</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">不満</td> <td>どちらとも言えない</td> <td rowspan="3">8.6%</td> </tr> <tr> <td>あまり良くない</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> </tr> </table> <p>活動面に対する満足度</p> <table border="1" data-bbox="1227 389 1541 555"> <tr> <td colspan="3">少年自然の家の活動はいかがでしたか 回収数 9,573</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">満足</td> <td>とても良い</td> <td rowspan="2">91.2%</td> </tr> <tr> <td>良い</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">不満</td> <td>どちらとも言えない</td> <td rowspan="3">8.8%</td> </tr> <tr> <td>あまり良くない</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> </tr> </table> <p>職員に対する満足度</p> <table border="1" data-bbox="857 635 1153 801"> <tr> <td colspan="3">職員の対応や指導はいかがでしたか 回収数 9,833</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">満足</td> <td>とても良い</td> <td rowspan="2">93.3%</td> </tr> <tr> <td>良い</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">不満</td> <td>どちらとも言えない</td> <td rowspan="3">6.7%</td> </tr> <tr> <td>あまり良くない</td> </tr> <tr> <td>良くない</td> </tr> </table> <p>利用目的の達成度</p> <table border="1" data-bbox="1238 635 1563 778"> <tr> <td colspan="3">利用目的は達成されましたか 回収数 8,696</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">満足</td> <td>達成された</td> <td rowspan="2">97.1%</td> </tr> <tr> <td>ほぼ達成された</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>達成できなかった</td> <td>2.9%</td> </tr> </table>	少年自然の家の生活はいかがでしたか 回収数 9,686			満足	とても良い	91.4%	良い	不満	どちらとも言えない	8.6%	あまり良くない	悪い	少年自然の家の活動はいかがでしたか 回収数 9,573			満足	とても良い	91.2%	良い	不満	どちらとも言えない	8.8%	あまり良くない	悪い	職員の対応や指導はいかがでしたか 回収数 9,833			満足	とても良い	93.3%	良い	不満	どちらとも言えない	6.7%	あまり良くない	良くない	利用目的は達成されましたか 回収数 8,696			満足	達成された	97.1%	ほぼ達成された	不満	達成できなかった	2.9%
少年自然の家の生活はいかがでしたか 回収数 9,686																																																		
満足	とても良い	91.4%																																																
	良い																																																	
不満	どちらとも言えない	8.6%																																																
	あまり良くない																																																	
	悪い																																																	
少年自然の家の活動はいかがでしたか 回収数 9,573																																																		
満足	とても良い	91.2%																																																
	良い																																																	
不満	どちらとも言えない	8.8%																																																
	あまり良くない																																																	
	悪い																																																	
職員の対応や指導はいかがでしたか 回収数 9,833																																																		
満足	とても良い	93.3%																																																
	良い																																																	
不満	どちらとも言えない	6.7%																																																
	あまり良くない																																																	
	良くない																																																	
利用目的は達成されましたか 回収数 8,696																																																		
満足	達成された	97.1%																																																
	ほぼ達成された																																																	
不満	達成できなかった	2.9%																																																
<p>利用者サービス向上のための職員に対する研修の計画的な実施状況</p>				<p>各施設とも「職員の資質向上を図るための研修」「接遇研修」「新任職員研修」等、利用者サービスの向上を目指した内部研修を積極的に実施した。また、外部研修においては、資質向上のための研修に職員を派遣するとともに、指導者としての専門性を高める研修への参加を積極的に行った。なお、本年度は、体系的な職員研修の一環として、職員の専門性・指導能力の向上を目指す「長期海外実践研修」に2名派遣した。</p> <p>「内部研修」</p> <table border="1" data-bbox="898 954 1496 1236"> <thead> <tr> <th>区分及び内容</th> <th>件数</th> <th>延べ参加者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員の資質向上を図るための実践的研修事業等の実施</td> <td>59</td> <td>668</td> </tr> <tr> <td>接遇に関する研修</td> <td>17</td> <td>261</td> </tr> <tr> <td>防災・救急法等の研修</td> <td>34</td> <td>758</td> </tr> <tr> <td>活動プログラムの習得の研修</td> <td>100</td> <td>688</td> </tr> <tr> <td>新任職員に対する研修</td> <td>17</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>その他の研修</td> <td>18</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>245</td> <td>2,695</td> </tr> </tbody> </table>	区分及び内容	件数	延べ参加者数(人)	職員の資質向上を図るための実践的研修事業等の実施	59	668	接遇に関する研修	17	261	防災・救急法等の研修	34	758	活動プログラムの習得の研修	100	688	新任職員に対する研修	17	98	その他の研修	18	222	合計	245	2,695																						
区分及び内容	件数	延べ参加者数(人)																																																
職員の資質向上を図るための実践的研修事業等の実施	59	668																																																
接遇に関する研修	17	261																																																
防災・救急法等の研修	34	758																																																
活動プログラムの習得の研修	100	688																																																
新任職員に対する研修	17	98																																																
その他の研修	18	222																																																
合計	245	2,695																																																



「外部研修」

区 分 及 び 内 容	件 数	参加者数(人)
施設職員としての資質向上を図る研修	86	225
自然体験に関する研修	20	49
社会教育に関する研修	19	38
青少年指導者の国際理解に関する研修	17	17
安全管理・健康管理に関する研修	9	40
実務研修	48	58
接遇に関する研修	1	10
合 計	200	437

「本部及び各少年自然の家共催による内部研修」

区 分 及 び 内 容	件 数	延べ参加者数(人)
新任職員に対する研修	4	42
施設職員としての資質向上を図る研修	5	71
合 計	9	113

利用団体の活動支援のための人材等の確保及び資質等向上のための研修実施状況

人材等の確保

法人全体として、体系的、一体的なボランティアの養成及びボランティア活動の推進を図るため、各国立少年自然の家共通のボランティア養成研修及び専門研修プログラムの策定及び活動のための体制の整備について検討を推進した。(16年度から実施)  
 少年自然の家全体を通して、外部の専門的指導員・ボランティアの確保に努めるとともに、社会教育実習生、教職員の体験学習研修会等の受入れを行い利用団体の活動支援体制の充実を目指した。  
 平成15年度における施設全体のボランティア登録者数は1,191人(昨年度比11.4%増)、このうち実動者は759人(昨年度比3.7%増)である。また、登録者数に占める実動数の割合は63.7%(昨年度68.5%)である。

施設別 ボランティア登録・実動者数(平成16年3月現在)

施設名	日高	花山	那須	高遠	妙高	立山	若狭	曾爾	吉備	徳地	室戸	夜須	諫早	大隅	合計
人 数	156 (146)	153 (36)	77 (44)	51 (22)	45 (31)	64 (31)	82 (75)	62 (40)	36 (26)	69 (68)	139 (94)	103 (23)	64 (44)	90 (79)	1191 (759)

( )内は実動者数 内数

外部の専門的指導員の登録状況

施設名	日高	花山	那須甲子	信州高遠	妙高	立山	若狭湾
人 数	9	9	24	106	99	12	25
曾爾	吉備	山口徳地	室戸	夜須高原	諫早	大隅	合計
24	16	40	45	28	4	11	452

<p>3 少年の団体宿泊訓練に関し、少年教育指導者の研修に関する事項 ・主催事業 (1)特に専門性の高い、少年教育に携わる指導者の資質向上を目的とした、次のようなブロック規模・全国規模の研修事業や地域課題に対応した研修事業を実施する。 ア 少年団体指導者、施設職員等を対象とした研修 イ ボランティア養成研修 ウ 外部研修指導員を対象とした研修 エ 指導者の企画力や専門性等を高める研修</p>	<p>少年教育指導者研修の実施状況</p> <p>少年団体指導者、施設職員等を対象とした研修の実施状況</p>	<p>・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。</p>	<p>指導者研修事業の体系化に基づき、少年団体や利用団体指導者、少年自然の家職員、学校教員等を対象に下記のとおり実施した。 また、「専門性の向上」「より広域的な発信」をねらいとする研修事業として、本部と各施設共催による事業を新規に4事業実施した。( 詳細は別添資料 P 2 3 ~ 3 1 )</p> <p>少年教育指導者等を対象とした研修</p> <table border="1" data-bbox="920 268 1397 467"> <thead> <tr> <th colspan="2">研修内容</th> <th>事業数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">取組状況</td> <td>少年教育指導者等を対象とした専門性の高い研修</td> <td>9</td> <td>473</td> </tr> <tr> <td>少年団体指導者等を対象とした研修</td> <td>13</td> <td>438</td> </tr> <tr> <td>教員を対象とした体験活動を促進する研修</td> <td>16</td> <td>1,139</td> </tr> <tr> <td>公立施設職員を対象とした研修</td> <td>4</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>ボランティアの養成研修</td> <td>17</td> <td>621</td> </tr> <tr> <td>ボランティアの資質向上研修</td> <td>11</td> <td>744</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>70</td> <td>3,549</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンケート調査による参加者の満足度 目標：80%以上</p> <table border="1" data-bbox="667 491 792 571"> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%以上</td> <td>80%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>90%未満</td> <td></td> </tr> </table> <p>93.9%</p> <p>ボランティア養成研修の実施状況</p> <p>ボランティア活動を希望する青年にその機会と場を提供するため、少年自然の家でのボランティア活動に必要な基本的な知識と技能の習得のための実践的な研修事業を実施した。 また、本年度は、法人として一体的、体系的なボランティア養成及び活動の推進を図るため、各施設共通の養成プログラム及び専門研修プログラムを策定した。( 詳細は別添資料 P 3 2 ~ 3 7 )</p> <p>ボランティア研修事業</p> <table border="1" data-bbox="936 715 1301 794"> <thead> <tr> <th>研修内容</th> <th>事業数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>養成研修</td> <td>17</td> <td>621</td> </tr> <tr> <td>資質向上研修</td> <td>11</td> <td>744</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>28</td> <td>1,365</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンケート調査による参加者の満足度 目標：80%以上</p> <table border="1" data-bbox="667 826 792 906"> <tr> <td>90%以上</td> <td>80%以上</td> <td>80%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>90%未満</td> <td></td> </tr> </table> <p>94.4%</p>	研修内容		事業数	参加者数	取組状況	少年教育指導者等を対象とした専門性の高い研修	9	473	少年団体指導者等を対象とした研修	13	438	教員を対象とした体験活動を促進する研修	16	1,139	公立施設職員を対象とした研修	4	134	ボランティアの養成研修	17	621	ボランティアの資質向上研修	11	744	合 計		70	3,549	90%以上	80%以上	80%未満		90%未満		研修内容	事業数	参加者数	養成研修	17	621	資質向上研修	11	744	合 計	28	1,365	90%以上	80%以上	80%未満		90%未満		<p>A</p> <p>指導者研修事業の体系化に基づき、研修事業を実施し、特に本部と各施設共催による専門的・広域的な事業を実施したことは評価できません。また、法人として共通的なボランティア養成及び資質向上のためのプログラムの策定に努めたことは評価できます。 今後は、この体系化に基づく指導者研修事業の一層の充実、共通プログラムに基づくボランティア養成に努めていくことが望まれます。</p>
研修内容		事業数	参加者数																																																				
取組状況	少年教育指導者等を対象とした専門性の高い研修	9	473																																																				
	少年団体指導者等を対象とした研修	13	438																																																				
	教員を対象とした体験活動を促進する研修	16	1,139																																																				
	公立施設職員を対象とした研修	4	134																																																				
	ボランティアの養成研修	17	621																																																				
	ボランティアの資質向上研修	11	744																																																				
合 計		70	3,549																																																				
90%以上	80%以上	80%未満																																																					
	90%未満																																																						
研修内容	事業数	参加者数																																																					
養成研修	17	621																																																					
資質向上研修	11	744																																																					
合 計	28	1,365																																																					
90%以上	80%以上	80%未満																																																					
	90%未満																																																						
<p>4 前項の業務に附帯する事項 (1)施設・設備の充実 主催事業参加者や利用団体の意見やニーズを把握し、団体宿泊訓練が効果的に行われるような施設・設備の計画的充実に図る。 (2)広報活動の充実に図るための計画刊行物等広報関係資料の配布など、事業の広報活動及び実施事業の成果の普及・啓発等を各施設の実状等を踏まえて効率的に行う。</p>	<p>附帯業務の実施状況</p> <p>施設・設備の計画的充実に関する取組状況</p> <p>広報活動の充実に関する取組状況</p>	<p>・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。</p>	<p>「 1 施設・設備の整備状況」に記載</p> <p>「 - 1 主催事業の実施事業、 - 2 受入事業の実施状況」に記載</p>																																																				

財務内容の改善に関する事項

中期計画の各項目	評価項目 指標	評価基準					評価に係る実績	評 定	
		A <sup>+</sup>	A	B	C	C <sup>-</sup>		A <sup>+</sup> A B C C <sup>-</sup> 評 定	留 意 事 項
予算、収支計画及び資金計画									
1 期間全体に係る予算 2 期間全体に係る収支計画 3 期間全体に係る資金計画	収入の確保等の状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。					独立行政法人制度が、独立採算性を前提とするものではなく、その対象となる業務を民間の主体に担わせた場合には必ずしも実施されないおそれがあるので、独立行政法人にその業務を担わせた趣旨であることを鑑みると、自己収入を必要としながらも、法人の本来業務に影響を及ぼすまでの収益確保を想定しているものではないと考える。 また、教育的配慮の下、団体宿泊や自然体験など家庭や学校では得ることのできない各種の体験を通じて少年を育成する目的で設置されたものであり、利用者全員について宿泊料を徴収しないこととする一方で、朝夕のつどいへの参加や宿泊室等の清掃などを義務づけることで、その教育的効果を実現してきている。仮に、一般利用において施設使用料を徴収した場合、少年に対する本来の教育効果が担保できないおそれがある。 したがって、自己収入の確保に努めることは必要であるものの、上記2点の理由から施設使用料の徴収を推進すべきではないと考えられ、別途国立少年の家の性格にあった自己収入の確保の方法について検討することが必要と考えている。	A	外部資金では、民間企業等に積極的な働きかけを行い、受託事業・協賛事業の実施や協賛物品の受入に努めたことは評価できます。 今後も少年自然の家の理解促進を図り、積極的な外部資金の受入に努めていくことが望まれます。
自己収入の受入状況 目標：100%	110%以上	100%以上	100%未満			法人では、自己収入として、これまでの、施設内の土地、建物等の貸付料の他に、受託実習生の実習料及び利用者のシーツ等洗濯費用を自己収入化した。  平成15年度自己収入予算額 67,024千円 平成15年度自己収入決算額 74,351千円 実績：111% 自己収入決算額74,351千円/自己収入予算額67,024千円			
自己収入決算額/自己収入予算額		110%未満							
	外部資金の受入れ状況	平成15年度における外部資金の確保等の状況は下記の通りである。  <平成15年度の外部資金等の受入れ状況> ア 自己収入 平成15年度決算額 74,351千円 イ 受託事業 3施設3事業 6,341千円 ウ 協賛事業 6施設8事業 2,420千円 エ 協賛物品 8施設 3,514千円 外部資金計 86,626千円							
短期借入金の限度額									
1 短期借入金の限度額 7億円 2 想定される理由 運営費交付金の受け入れの遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借入することも想定される。	短期借入金の借入状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。					短期借入金の借入実績と効果、借入理由など  なし		
重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画									
計画の予定なし	重要財産の処分等状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。					重要な財産の譲渡等の実績など  なし		
剰余金の使途									
主催事業、受入れ事業の充実 必要な施設設備の充実	剰余金の使用等の状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。					剰余金による事業実施実績及び効果、剰余金による事業実施理由など  なし		

その他業務運営に関する重要事項

中期計画の各項目	評価項目		評価基準					評価に係る実績	評 定																																													
	指 標		A <sup>+</sup>	A	B	C	C <sup>-</sup>		A <sup>+</sup> A B C C <sup>-</sup> 評 定	留 意 事 項																																												
その他文部科学省省令で定める業務運営に関する事項																																																						
1 施設・設備に関する事項 (1) 研修・宿泊施設等の新設、改修、増設計画等 防災、研修の充実、快適な食・住環境の確保等の観点から、必要な施設設備の新設、改修、増設等を計画的に進める。 (2) 高齢者及び身障者に配慮した施設整備の推進 「高齢者及び身体障害者等が円滑に利用できる特定建築の促進に関する法律」等の基準に従い、高齢者等が円滑に施設・設備を利用できるように配慮を行う。	施設・設備の整備状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。																																																				
	防災、研修の充実、快適な食・住環境等の確保の観点に立った施設設備の整備状況						<p>(1) 施設・設備の整備計画 安全かつ快適な利用者の活動・生活環境の確保のため、利用者のニーズに応えるとともに老朽化の進行を食い止める方策など、整備を計画的に推進した。特に、厨房ドライシステム化による食中毒防止対策、建物の耐震診断については、年次計画をたて計画的に整備を実施した。</p> <p>(2) 防災、研修の充実、快適な食・住環境等の確保の観点に立った整備の実績 整備計画等に基づき、厨房ドライシステム化等改修（日高）をはじめ22件の整備事業を実施し、少年自然の家での衛生環境の改善、老朽箇所の修復による災害の未然防止を図った。</p> <p>[施設整備費補助金事業（平成14年度繰越分）]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>事業名</th> <th>事業費（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 高</td> <td>管理研修棟耐震補強等改修</td> <td>224,401</td> </tr> <tr> <td>花 山</td> <td>宿泊棟耐震補強等改修</td> <td>184,820</td> </tr> <tr> <td>大 隅</td> <td>ロッジ周辺バリアフリー化等改修</td> <td>30,799</td> </tr> <tr> <td colspan="2">施設整備費補助金事業</td> <td>440,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>[施設整備費補助金事業]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>事業名</th> <th>事業費（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 高</td> <td>厨房ドライシステム化等改修</td> <td>82,162</td> </tr> <tr> <td>那須甲子</td> <td>宿泊棟B・C棟等屋根及び内外装改修</td> <td>163,330</td> </tr> <tr> <td>妙 高</td> <td>厨房ドライシステム化等改修</td> <td>62,856</td> </tr> <tr> <td>曾 爾</td> <td>暖房設備改修</td> <td>120,518</td> </tr> <tr> <td>室 戸</td> <td>給排水設備改修</td> <td>63,380</td> </tr> <tr> <td>大 隅</td> <td>厨房ドライシステム化等改修</td> <td>80,785</td> </tr> <tr> <td colspan="2">施設整備資金貸付金事業</td> <td>626,372</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	事業名	事業費（千円）	日 高	管理研修棟耐震補強等改修	224,401	花 山	宿泊棟耐震補強等改修	184,820	大 隅	ロッジ周辺バリアフリー化等改修	30,799	施設整備費補助金事業		440,000	施設名	事業名	事業費（千円）	日 高	厨房ドライシステム化等改修	82,162	那須甲子	宿泊棟B・C棟等屋根及び内外装改修	163,330	妙 高	厨房ドライシステム化等改修	62,856	曾 爾	暖房設備改修	120,518	室 戸	給排水設備改修	63,380	大 隅	厨房ドライシステム化等改修	80,785	施設整備資金貸付金事業		626,372								<p>A</p> <p>限られた予算の中で、利用者の快適な食・住環境の確保や身障者等に対応した施設・設備の整備に着実に努めていることは評価できます。今後、施設の老朽化や新たなニーズに対応した施設の整備にあたっては、健康と環境に配慮するとともに、耐震補強に配慮した計画の推進が望まれます。また、受動喫煙防止対策への取組は、積極的に進めることを望みます。</p>
施設名	事業名	事業費（千円）																																																				
日 高	管理研修棟耐震補強等改修	224,401																																																				
花 山	宿泊棟耐震補強等改修	184,820																																																				
大 隅	ロッジ周辺バリアフリー化等改修	30,799																																																				
施設整備費補助金事業		440,000																																																				
施設名	事業名	事業費（千円）																																																				
日 高	厨房ドライシステム化等改修	82,162																																																				
那須甲子	宿泊棟B・C棟等屋根及び内外装改修	163,330																																																				
妙 高	厨房ドライシステム化等改修	62,856																																																				
曾 爾	暖房設備改修	120,518																																																				
室 戸	給排水設備改修	63,380																																																				
大 隅	厨房ドライシステム化等改修	80,785																																																				
施設整備資金貸付金事業		626,372																																																				

	<p>高齢者等に配慮した施設の整備状況</p>		<p>15年度の施設整備の計画に際しては、バリアフリー化を更に推進し、身障者等も健常者と一緒に安心して活動ができる環境を整備することによって、利用目的が達成できるよう配慮した。</p> <table border="1" data-bbox="857 140 1541 292"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>事業名称</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日高</td> <td>管理研修棟・生活関連棟他改修(再掲)</td> <td>エレベータ新設、リフト新設、渡り廊下段差解消、浴室段差解消、手摺り増設、身障者トイレ新設及び改修</td> </tr> <tr> <td>曾爾</td> <td>暖房設備改修(再掲)</td> <td>身障者トイレの改修</td> </tr> <tr> <td>大隅</td> <td>ロッジ周辺バリアフリー化等改修(再掲)</td> <td>バリアフリー化・スロープの新設</td> </tr> <tr> <td></td> <td>海浜施設バリアフリー化</td> <td>スロープの新設、障害者用トイレの新設</td> </tr> </tbody> </table> <p>[利用者・主催事業参加者のニーズを踏まえた整備]        ナイトハイクコースの整備 ハイキングコースの簡易トイレの設置 多目的グラウンドの整備 雨水により浸食した遊歩道の整備 野外活動場所のトイレ補修 スキー場の法面整形補修、芝張り、保護マットの整備 ジョギング、ウォーキングコースのポイント整備などを行った。</p>	施設名	事業名称	事業内容	日高	管理研修棟・生活関連棟他改修(再掲)	エレベータ新設、リフト新設、渡り廊下段差解消、浴室段差解消、手摺り増設、身障者トイレ新設及び改修	曾爾	暖房設備改修(再掲)	身障者トイレの改修	大隅	ロッジ周辺バリアフリー化等改修(再掲)	バリアフリー化・スロープの新設		海浜施設バリアフリー化	スロープの新設、障害者用トイレの新設	
施設名	事業名称	事業内容																	
日高	管理研修棟・生活関連棟他改修(再掲)	エレベータ新設、リフト新設、渡り廊下段差解消、浴室段差解消、手摺り増設、身障者トイレ新設及び改修																	
曾爾	暖房設備改修(再掲)	身障者トイレの改修																	
大隅	ロッジ周辺バリアフリー化等改修(再掲)	バリアフリー化・スロープの新設																	
	海浜施設バリアフリー化	スロープの新設、障害者用トイレの新設																	
<p>2 人事に関する計画        (1)方針        ア 人事サイクルを基本とした、実践的研修や専門的研修事業の活用による青少年教育施設の専門家の計画的な養成を図る。        イ 関係機関との間で幅広く計画的な人事交流を行い、多様な人材を確保する。        ウ 人事管理については新情報ネットワークシステムにおいて管理する。        (2)人員に関する指標        常勤職員について、その職員数の抑制を図る。</p>	<p>人事管理の状況</p>	<p>・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。</p>	<p>平成15年度は、法人として専門性のある職員の養成・確保に向けて、新たにプロパー職員(準専門職員)7名を採用するとともに、平成16年度の準専門職員採用に向けて公募を実施した。        また、各少年自然の家の事業部門の強化を目指した組織機構の見直し、本部への一層の事務の一元化を図るための職員の再配置、準専門職員の雇用形態に見合った処遇の在り方等について、平成16年度実施に向けて、プロジェクトにより検討を行った。</p> <p>(1) 職員の資質向上を図るための実践的研修事業等の実施</p> <p>- 2        利用者サービスの向上のための職員に対する研修の計画的な実施状況(P7・8)を参照</p> <p>(2) 関係機関等との人事交流等の状況</p> <p>法人として新たに準専門職員7名を採用するとともに、次年度に向けた公募を実施した。また、準専門職員の評価・処遇の在り方を検討し、実施のための準備事務を進めた。        なお、平成15年度の人事交流等の状況(役員は除く)は、以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="904 775 1337 847"> <thead> <tr> <th>国の機関</th> <th>地方公共団体</th> <th>その他</th> <th>新規採用</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46名</td> <td>28名</td> <td>1名</td> <td>7名</td> <td>82名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 常勤職員数        平成15年度の国立少年自然の家の常勤職員数は265名である。</p>	国の機関	地方公共団体	その他	新規採用	合計	46名	28名	1名	7名	82名	<p>A        法人として、専門性の高い職員の養成・確保のため、新たにプロパー職員(準専門職員)7名を採用したこと、体系的な職員研修の一環としてニュージーランドでの長期海外実践研修に職員2名を派遣したことは高く評価できます。        また、各少年自然の家の事業部門の強化を目指した組織機構の見直しや、本部への一層の事務の一元化を図るための職員の再配置などについて、平成16年度実施に向けて、プロジェクトにより検討を行ったことは評価できます。        今後も、職員の採用に当たっては、幅広い分野からの人材の確保とともに、法人内における専門性の高い職員の計画的養成と各施設における適正な人員配置に向けて積極的な取組みを期待します。</p>					
国の機関	地方公共団体	その他	新規採用	合計															
46名	28名	1名	7名	82名															

## 〔別添資料〕

## 少年を対象とした主催事業の実施

## ア 少年の現代的な課題等に対応した事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
<b>「長期自然体験活動」事業</b>				
日高	日高山脈冒険隊  (継続)	日高山脈の大自然の中で、登山やサイクリング、川下り、乗馬など長期の野外活動を通して、自然の雄大さや厳しさを実感するとともに、たくましく「生きる力」を養い、少年に夢と希望の冒険心を育てる。	小学5年～中学3年  31/30 100%	8/3～10 7泊8日
花山	青少年の「社会性」を育む 長期自然体験活動ふれあい新発見！冒険隊 <b>(重点事業)</b> (新規)	大自然の中で、異年齢による長期間にわたる共同生活や冒険活動などを通して、子ども達の自主性や社会性を育むためのモデルプログラム開発事業とする。	小学5年～中学3年  28/30 100%	7/12～13 1泊2日 7/27～8/3 7泊8日
那須甲子	なすかし 子どもアドベンチャー  (継続)	大自然の中での長期間にわたる共同生活や冒険活動を通して、子どもたちの自主性や主体性などの「生きる力」をはぐくむためのモデル事業とする。	小学5年～中学3年  32/32 93.3%	8/1～10 9泊10日
	ひとり立ちへの挑戦！ 君がつくる144アワー  (継続)	少年自然の家での生活・活動、プログラムの全てを8人という小グループで子ども自らが計画し実践することにより、子どもの主体性・問題解決能力・基本的な生活習慣・自律性などを育む。	小学5年～中学2年  24/24 95.7%	7/24～30 6泊7日
	海と山を結ぶ子ども 交流キャラバン  (継続)	異地域の子もたちが、共同生活や各種の体験活動を通して交流を深めると共に、東日本における施設間連携のモデル事業とする。	小学5年～中学3年  32/32 96.5%	8/17～24 7泊8日
信州高遠	長期野外生活体験 -仲間とつくる11泊12日-  <b>(重点事業)</b> (継続)	初めて出会った仲間達と自然の中で長期間自炊体験をしながら、自然観察や農作業、料理、食料保存、野外伝承遊びや生活用具作り等の具体的な生活体験をすることによって、子どもたちが生きるために必要な生活の知恵・生きる力や応用力、社会性等を習得する機会とする。	小学5年～中学2年  39/42 82.1%	8/1～12 11泊12日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
立山	真夏のチャレンジ 立山&富山湾  (重点事業) (継続)	立山連峰と富山湾を結ぶ標高差3000mの自然を舞台にした共同体験を通して、自ら心や体を鍛えるとともに、参加者相互の交流を深める。	小学5年～中学3年  30/30 100%	8/2～12 10泊11日
若狭湾	地域・人・自然から学ぶ ～若狭ふれあいの旅～  (重点事業) (継続)	漁家での宿泊体験を通して、人との関わりや働くことの意義について学ぶ。 地域の自然や歴史・文化に触れることにより、豊かな心を育てる。 参加者相互が交流することにより、協力することの大切さ、素晴らしさを体感させる。	小学5年～中学3年  14/20 92.9%	7/27～8/5 9泊10日
曽爾	夢冒険真夏にチャレンジ  (重点事業) (継続)	今まで経験したことのない冒険的な体験に立ち向かうことにより、自らの可能性を再発見すると共に自主性、協調性、忍耐力などを養い、子どもたちの変容に寄与する。	小学5年～中学生  29/30 89.3%	8/3～10 7泊8日
吉備	サマーチャレンジinきび “めざせ森の達人！”  (重点事業) (継続)	山と海を中心とした夏山登山、滝の垂直下降、ロッククライミング、フィールド着衣泳、シーカヤック、サバイバルキャンプ等で、自然の美しさや厳しさを学ぶとともに、共同での長期キャンプを通して、自主性・協調性・忍耐力を培い、心豊かな子どもの育成を図る。	小学5年～中学3年  25/25 92.0%	7/31～8/10 10泊11日
山口徳地	野性の夏2003  (継続)	異年齢の子どもたちが、長期キャンプにおける様々な自然体験活動を通して、自立心や豊かな心情、たくましい心身の育成等、「生きる力」をはぐくむ。	小学4年～中学3年  31/30 90.3%	8/17～8/26 9泊10日
室戸	わんぱくこども宿  (重点事業) (継続)	大自然の中でのキャンプを通し、様々な自然体験などに挑戦する中で、助け合いの心や困難に打ち克つ精神力を育み、心豊かな少年の育成を図る。	小学校高学年・中学生  36/36 97.2%	8/6～8/19 13泊14日
夜須高原	夜須高原 トム・ソーヤー冒険隊  (重点事業) (継続)	日常生活では体験できない冒険的な活動を行い、困難に立ち向かう勇気を育成し、野外活動の技術を向上させるとともに、人間関係能力を高める。	小学5年～中学生  54/60 88.0% 54/60 83.0% 48/60 90.2% 47/60 95.7%	5/24～25 1泊2日 7/20～29 9泊10日 10/11～13 12/19～21 2泊3日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
	夜須高原“遊学キャンプ”  <b>(重点事業)</b> (継続)	長期間、家庭を離れ遊びと学習を融合した活動の中で総合的な学習を行い、「生きる力」を養うと共に、学校の学習につなげる。	小学5年～中学生  63/60 93.2% 63/60 91.7% 54/60 88.0%	7/5～6 1泊2日 8/1～10 9泊10日 11/14～16 2泊3日
諫早	いさはや サマープロジェクト  <b>(重点事業)</b> (継続)	人・社会・自然との関わりが苦手な希薄な今日の子どもたちに、日常生活とは異なる環境下におけるワイルドな自然体験や冒険プログラム体験をとおして、自己を見つめなおし、新たな自分を創造していく一助とする。	小学5・6年  24/20 82.6%	7/21～8/4 14泊15日
大隅	われは海の子 ～錦江湾ぐるり一周 ゴムボート・カヌーの旅～  (継続)	錦江湾をゴムボート等で一周するアドベンチャーに異年齢で挑むことにより、体力気力づくりをしながら協調性を養うとともに、海の生物調査や水質検査等を行い、環境問題への関心を深める。また海から見た地形や錦江湾の素晴らしさを再発見する。	小学5年～高校生  36/30 97.2%	8/2～9 7泊8日
<b>「不登校等児童・生徒」等を対象とした事業</b>				
日高	ふれあい交流キャンプ  <b>(重点事業)</b> (継続)	フリースクールや適応指導教室等に通う、不登校傾向にある児童生徒が、日高管内の特色を生かした自然体験活動を行う中で交流し、社会性や協調性、忍耐力など豊かな感性と生きる力を育成する。	フリースクール、適応指導教室等に通う児童生徒  14/20 26/20 16/20 98.5%	6/21～22 1泊2日 8/26～30 4泊5日 1/7～9 2泊3日
花山	アドベンチャースクール  (継続)	不登校状態にある児童・生徒を対象に、自然の中での宿泊合宿をとおして仲間作りの楽しさを体験しながら、自己を見つめ、新たな可能性を見いだす機会とする。	不登校の児童・生徒  11/30 90.9%	10/22～24 2泊3日
妙高	心の教育セミナー  <b>(重点事業)</b> (新規)	悩みを抱える青少年(反社会的行動、不登校、不登校傾向等)への関わり方やカウンセリングの方法等を講義や個別カウンセリングを通して理解すると共に、長期野外キャンプの有効性について広報・普及する機会とする。	悩みを抱える中学生及び保護者、学校関係者  1,130/500 73.1%	7/11 日帰り



	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
	不登校児童生徒 体験活動推進事業 「はつらつ体験塾」  (継続)	新潟県教育委員会と連携し、自然体験・共同宿泊体験を通して、仲間との触れ合いを体感させ、心理的安定ができる雰囲気づくりに努めるとともに、不登校児童・生徒やその保護者との面談を通して不安や悩みの回復を図る。	不登校・不登校傾向 の児童・生徒及びそ の保護者  49/50 90.0% 40/50 87.2%	10/4～5 1泊2日 11/6～9 3泊4日
	オープン・ザ・ドア ～太平洋から日本海へ～  (重点事業) (継続)	悩みを抱える青少年(反社会的行動、不登校・不登校傾向対象)に長期に渡る生活体験・冒険活動に取り組ませると共に、マウンテンバイクやカヤック等による長距離の旅で、圧倒的な達成感を与えることによって、自己の生活を振り返らせ、社会性や自信の回復、自立心を育てる。	悩みを抱える中学生 及び保護者、学校関 係者  13/15 100%	8/11～30 19泊20日 10/4～5 1泊2日 1/10～12 2泊3日
若 狭 湾	大自然はみんなの友達 春・秋 含「学校適応支援事業」 企画会議  (継続)	不登校傾向にある児童・生徒と保護者が、若狭湾の雄大な自然の中で心身のリフレッシュを図り、参加者相互のネットワーク化を図る。	不登校傾向にある 小・中学校児童生 徒、保護者、学校教 育関係者  10/20 13/20 100%	6/16 1日 10/11～12 1泊2日
吉 備	悩みを抱える小・中学生の 体験活動事業  (新規)	悩みを抱える子どもたちが、様々な自然体験活動やスポーツ活動を通して生きる力を育む。	悩みを抱える小学生 及び中学生  24/45 21/45 22/45 22/45 23/45 23/45 23/45 25/45 39/45  75.0%	12/3 12/10 12/17 1/14 1/21 2/12 2/18 2/25 3/3 各日帰り
山 口 徳 地	心のふれあい 体験キャンプ  (継続)	臨床心理学や野外教育の専門家の指導のもと、教育相談や自然体験活動を通して子ども心の悩みを軽減し、その後の社会生活や学校生活に活かせるよう支援する。	心の悩みや不登校 傾向のある小・中学 生、その他保護者及 び教育関係者  25/30 84.6%	2/20～22 2泊3日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
諫早	あおぞら教室  (新規)	自然体験、生活体験等を通して不登校児童生徒の自立と集団への適応を図る。	不登校児童生徒  52/60 27/20 84.7%	10/18～19 1泊2日 12/9～10 1泊2日
<b>「学校教育における総合的な学習の時間」に対応した事業</b>				
日高	少年環境調査隊  (継続)	国立日高少年自然の家の施設や周辺の自然の環境の中で、自然体験活動や環境学習を行い、自然や環境に関する関心を高め、より理解し、自ら実践していく態度や能力を育成していく。	小学3～6年生  71/71 95.7%	6月～10月 計83 時間 各学年 毎年6回
花山	学校移動事業  (継続)	学習の場を学校から移し、自然体験学習、集団宿泊活動、教科学習を総合的にを行い、子どもたちの自主性や協調性、判断力や創造性を育む。	小・中学生 14/14 56/56 37/37 42/42 92.8%	/4～5 1泊2日 2/10 2/24 2/25 日帰り
信州 高遠	自然の中で環境スクール -総合的な学習の時間実践 事業-  (重点事業) (継続)	社会教育施設である本少年自然の家の体験活動、周辺の自然・環境、人材、設備等の教育資源や教育力を利用し、学社融合の観点から学校教育と社会教育とがそれぞれの機能を発揮し、補完しあいながら「総合的な学習の時間」を実施する。	小学校又は中学校  205/205 100%	7/2～4 2泊3日
妙高	自然の中で「総合」ワンダ ーアース ～妙高不思議探検隊～  (継続)	本少年自然の家において、実践協力校の職員と本施設の専門職員がチームで、総合的な学習の時間の授業実践を行い、その実践を踏まえたプログラムの改善・充実を図る	小学校・中学校  7校/5校 100%	通年
立山	豊かな森からの発信！ こちら立山エコセンター  (継続)	自然体験・環境学習を通して、子どもたちの「生きる力」を培うために小中学校と連携協力し、所周辺の自然とエコスクール館を活用した「総合的な学習の時間」を推進する。	小学校・中学校 5校212人 計52回 (未実施)	随時
曽爾	「総合的な学習の時間」 を自然の中で  (継続)	教育の土台・出発点である「自然に親しむ」ことに重点を置き、「総合的な学習の時間」(環境教育)における学社融合事業として実施する。	小学校  109/109 98.2%	10/22～24 2泊3日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
山口徳地	徳地学びの森 ～学校との連携による「総合的な学習の時間」の創造～  <b>(新規)</b>	本少年自然の家を利用した「総合的な学習の時間」の活動内容や展開方法等について共同で研究し、その実施において有機的な連携を図ると共に、本施設が持つ本来的な教育機能を十分に生かす方法を模索する。	小学校・中学校  2校 / 2校 (未実施)	5/20～22 2泊3日 6/27 日帰り
室戸	日本版 SchoolWaterWise  <b>(重点事業)</b> (継続)	「海」の自然体験活動を通して、海に親しみ、海からの恩恵を学び、海について理解を深め、海についての環境問題を考えると共に海での基本的な安全知識(危険回避)を身につける。	小・中学校 参加者  101/101 39/39 142/142 79/79 (未実施)	9/9～12 9/24～27 9/30～10/3 10/14～17 3泊4日
諫早	学社融合「総合的な学習の時間」共同開発事業  (継続)	少年自然の家を利用した「総合的な学習の時間」における展開について、施設と学校が共同で研究開発し、その成果を広く普及する。	諫早市立諫早小 教師5名 児童101名 (未実施)	指導者研修 7/23 宿泊学習 9/10～11 1泊2日
<b>「障害児(者)を対象とし、ノーマライゼーション等」を目的とした事業</b>				
日高	わくわくキャンプ インひだか  <b>(重点事業)</b> (新規)	小中学校と養護学校に通う児童生徒が、自然の家で野外炊飯やキャンプファイヤーなどの自然体験活動や共同生活をしながら交流し、相互理解を図る。	小中学校と養護学校の児童生徒  32/30 100%	9/13～15 2泊3日
那須甲子	特殊教育学校と高等教育と少年自然の家との有機的連携に関する研究授業  <b>(重点事業)</b> (新規)	特殊教育学校児童・生徒の自然体験や生活体験の一層の充実を図るため、少年自然の家と特殊教育学校と高等教育との有機的連携のもとに研究委員会を組織し、新しいプログラムの開発を行う。	小学部～高等部  (未実施)	通年
	スノーマライゼーション 第1・2回ふれあい雪ん子親子ミーティング  (継続)	小中学生の子どもたち及び障害のある子どもたちとその家族に、冬の自然とふれあう機会を提供するとともに、活動を通して交流を深める。	小中学生とその家族、障害のある小中学生とその家族 245/240 93.1%	1/10～12 2泊3日 2/14～15 1泊2日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
信 州 高 遠	みんな友だち - 土と人 -  (重点事業) (継続)	協力をしながら、農作業・ハイキング・創作活動などを通して、豊かな心を育てる。また、相互の立場を理解し合い、ともに生きる心を育む機会とする。	心身に障害のある児童生徒とその家族・児童生徒とその家族 38/30 90.9% 31/30 100%	6/7～8 1泊2日 9/13～14 1泊2日
曾 爾	みんなでリフレッシュ！  (重点事業) (継続)	子ども達の自尊感情を高める野外活動を実施。保護者は、カウンセリング等を通して、子供達との関わり方を学ぶ。みんながともにリフレッシュし、明日への意欲を高める。	A D H DまたはL Dの児童・家族、指導者等 6家族/6家族 94.5%	10/11～12 1泊2日
山 口 徳 地	ハート&ハートキャンプ  (重点事業) (新規)	自然の中で学校や家庭では味わえない体験をすることにより、自然の素晴らしさを体感させると共にリフレッシュし、明日への意欲を高める。	障害のある小・中学生とその家族及び特別支援教育に関心のある方 63/60 96.2%	12/25～26 1泊2日
夜 須 高 原	夜須高原 “いきいき”キャンプ  (重点事業) (継続)	学校や家庭とは異なった環境において、豊かな体験活動の機会を提供することとおして、生活能力や人間関係能力等を育む。 (年間4回シリーズ)	障害のある児童・生徒とその家族 継続4回 45/40 45/40 45/40 41/40(未実施)	6/7～8 1泊2日 8/19～23 10/19～23 4泊5日 12/12～14 2泊3日
諫 早	学社融合知的障害のある児童生徒に対応した事業「ここにこキャンプ」  (新規)	養護学校と自然の家が連携を図り、障害のある人の楽しめるプログラムを共同で研究・開発し、その成果を広く普及する。	虹の原養護学校 22/22 22/22 (未実施)	7/25 9/17～19 2泊3日
大 隅	チャレンジ・ザ・キャンプ  (重点事業) (継続)	下肢に障害のある児童・生徒に野外活動やキャンプ体験をさせ、野外活動の楽しさを体験するとともに活動範囲を広げる。	下肢に障害のある児童・生徒 10家族/10家族 100%	8/22～24 2泊3日
<b>「環境教育・環境学習」に対応した事業</b>				
日 高	森の少年保安官  (継続)	国立日高少年自然の家に隣接する豊かな国有林を活用した森での林業体験活動を通して、森林の働きと自然環境の豊かな恵みを肌で感じさせるとともに、自然環境保護の精神を育てる。	中学生 41/41 83.5%	6/19～20 1泊2日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
吉備	吉備自然探検隊 “カワセミクラブ”  (重点事業) (継続)	吉備高原の自然環境の調査や観察を通して、自然への探求心や感性を高め、環境保全への主体的・創造的な態度を養うとともに、当所総合的な学習の時間に対応した環境学習の教材開発を行う。	小学校4年～6年 52/40 90.3% 52/40 93.4%	7/6～7 11/1～2 各1泊2日
室戸	日本版Water Wise  (重点事業) (継続)	世界一斉の「海岸クリーンアップ」を室戸でも開催し、室戸の海岸漂着物の現状を調査し、環境教育の必要性を理解する「海」の自然体験活動を通して、海に親しみ海からの恩恵を学び、海について理解を深め、海についての環境問題を考える。	小学校高学年～中学生 37/40 89.2% 31/40 97.1% 33/40 97.0%	6/14～15 7/5～6 1泊2日 9/13～15 2泊3日
<b>「国際理解・国際交流」を深める事業</b>				
日高	地球ファミリー大集合  (継続)	外国人の子どもとその家族が集い、日本の伝統芸能を鑑賞し、日高の祭りの体験などを通して、日本の文化や生活への理解を深めると共に参加者同士の国際交流を図る。	外国人の子どもとその家族 118/150 93.5%	7/12～13 1泊2日
大隅	わんぱくキッズ大集合  (新規)	正月を前に外国の人と日本の正月を迎える準備をしながら、日本の伝統文化を理解すると共に、外国の文化や生活について知る機会とする。	小学校4年生～中学生 46/40 80.1%	12/25～27 2泊3日
<b>「科学する心」をはぐくむ事業</b>				
立山	宇宙の神秘 「スペースクラブ 童夢2003」  (重点事業) (継続)	星座観察、天体写真撮影、月や太陽・惑星の観察等、年間で開催。また、宇宙関連施設等の見学・実習を行い、宇宙に関する継続した学習機会を提供することで、科学離れしがちな子供達に、宇宙や自然に対する興味・関心を培うとともに科学する心を育てる。	小学校5年生～中学校3年生 29/30 29/30 26/30 26/30 86.2%	8/24～28 4泊5日 10/11～13 2泊3日 12/20～21 2/7～8 各1泊2日
山口徳地	サイエンスアドベンチャーin YAMAGUCHI 化石発掘探検 宇宙へのいざない  (新規)	科学技術に対する興味・関心を育み「科学する心」を養うため、自然体験活動に「科学」の視点を導入し、自然の素晴らしさや自然環境の大切さ等、自然を科学的に調べる能力の育成を図る。	小学校4年生～中学校3年生 25/25 91.3% 25/25 97.9%	6/7～6/8 12/13～14 1泊2日
室戸	子ども自然科学教室  (継続)	化石採集、化石クリーニング等の活動を通して、古生物への興味・関心を高め、環境保護への意識を喚起する。	小学校高学年・中学生 43/40 81.4%	11/15～16 1泊2日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
室戸	親子自然科学教室 (継続)	屋外での身近な自然の観察や生活用品を用いた簡単な実験などを行い、自然科学に対する興味・関心を育てる。	小学校低中学年とその家族 38/40 93.1%	12/6～7 1泊2日
夜須高原	キッズワンダークラブ (新規)	理科好きの子ども達に、日頃体験できないような手作り実験や科学の原理を探究させるような観察・実験の機会を与え、「発見する喜び」や「作る喜び」等を体験させることにより、子ども達に科学的な物の見方や考え方などの豊かな科学的素養を育成する。	小学校4年生～中学生及びその保護者並びに理科担当教諭 100/120 94.3%	8/23～25 2泊3日
大隅	親子科学教室 (継続)	親子で科学に関する学習をする中で、科学することへの興味関心を深めながら、親子の絆を深めたり参加者相互の交流を図る。	小学生(1～4年)その家族 25家族 / 20家族 93.5%	5/24～25 1泊2日
	親子科学教室 (継続)	親子で科学に関する学習をする中で、科学することへの興味関心を深めながら、親子の絆を深めたり参加者相互の交流を図る。	小学生(1～4年)その家族 12家族 / 20家族 92.9%	11/15～16 1泊2日
<b>「異文化理解・交流」を深める事業</b>				
日高	日本列島ともだちの輪 in 立山(富山県)～ 日高(北海道) (継続)	異なる地域の子どもたちが交流し、広い視野と豊かな心を育むと共に、郷土に対する理解を高める。	小学5年～中学2年 立山 20/20 日高 20/20 93.7%	立山研修 7/26～31 5泊6日 日高研修 12/25～29 4泊5日
立山	日本列島ともだちの輪 in 立山(富山県)～ 日高(北海道) (新規)	異なる地域の子ども達、相互に訪れ交流する活動を通して、生活様式や自然環境などの違いを体験すると共に、友達の輪を広げ、自分の故郷を見直す機会とする。	小学5年～中学3年 39/40 100%	立山研修 7/27～31 4泊5日 日高研修 12/24～29 5泊6日
曽爾	日本列島ともだちの輪 in 奈良 (重点事業) (新規)	異なる地域に住む青少年が「歴史と文化」をテーマに交流し、広い視野と豊かな心を育むと共に、大和路の歴史や文化財について理解を深める。	小学5年～中学2年 60/60 95.0%	8/18～22 4泊5日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
吉備	日本列島ともだちの輪 in 奈良  (新規)	異なる地域に住む青少年が「歴史と文化」をテーマに交流し、広い視野と豊かな心を育むと共に、大和路の歴史や文化財について理解を深める。	小学5年～中学2年  60/60 95.0%	8/18～22 4泊5日
山口徳地	日本列島ともだちの輪 in 山口徳地  (新規)	異なる地域の子も達が交流し、生活様式や自然環境の違いを体験すると共に、友達の輪を広げて、自分の故郷を見直す機会とする。併せて、国立少年自然の家同士の連携を図り、新しいプログラムを開発する。	小学4年～中学3年  29/30 82.8%	8/19～23 4泊5日
室戸	日本列島ともだちの輪 in 山口徳地  (継続)	異なる地域の子も達が交流し、生活様式や自然環境の違いを体験すると共に、友達の輪を広げて、自分の故郷を見直す機会とする。併せて、国立少年自然の家同士の連携を図り、新しいプログラムを開発する。	小学校高学年・中学1年生  16/30 100%	8/18～23 5泊6日
諫早	日本列島ともだちの輪 in 奈良  (新規)	異なる地域に住む青少年が共通のテーマの基に交流し、お互いの地域の歴史や風土、自然環境などを体験することにより交流の輪を広げ自分の郷土を見直す機会とする。	小学5年生～中学2年生  60/60 95.0%	8/18～22 4泊5日
大隅	日本列島ともだちの輪 in 山口徳地  (継続)	異なる地域の子もたちが自然体験活動を通して交流し、お互いの地域の歴史や風土、自然環境などを体験することにより交流の輪を広げ自分の郷土を見直す機会とする。	小学5年生～中学1年生  30/30 86.7%	8/18～23 5泊6日

イ 各少年自然の家の特色・立地条件等を活かした事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
花 山	花山自然探検隊 「春」はなやまの春探し 「夏」たっぷり夏 「秋」花山の宝探し 「冬」雪山ウォッチング  (継続)	異年齢の子ども達が、花山に集い、四季折々の花山の自然とのふれあいを通して、自然環境の豊かな恵みを体験するとともに共同生活や交流を行うことで、社会性や協調性を育む。 花山の動植物観察などの自然散策をとおして、自然の素晴らしさを味わう。 竹を使った制作活動や様々な動植物との出会いを通して花山の夏を満喫する。 ターザンごっこややぶこき等の活動を通して、冒険心を養うとともに、花山の秋を探し、自然の素晴らしさに気づく。 雪山ウォッチングや雪遊びを通して、冬の花山の自然に触れる。	小学3年～中学3年  28/30 82.1% 32/30 81.3% 30/30 86.2% 24/30 87.0%	5/17～18 1泊2日 8/21～23 2泊3日 10/25～26 1泊2日 2/7～8 1泊2日
信 州 高 遠	『行こう雲上の世界へ』～ 南アルプス仙丈岳 (3,033m)への挑戦 <b>(新規)</b>	南アルプス仙丈岳登山を通して、自然の雄大さや美しさを感じるとともに、冒険心や忍耐力等精神力の向上と達成した喜びを促す。	小学5年～中学3年  15/25 100%	7/23～25 2泊3日
	農作業体験 - 親子で“春は田植え” “秋は稲刈り”をしよう -  (継続)	共に過ごす時間を持たない親子が、自然の中で田植えや稲刈りなどの農作業体験を通して、親子のきずなを深めるとともに、奉仕する心や勤労を尊ぶ心を育てる。また、共同作業を通して、子どもたちにも協力し合う思いやりの心を育てるとともに地域の人々と連携し交流を深める。	小・中学生を含む家族・グループ 43/40 子ども 93.8% 大人 100% 子ども 83.3% 大人 92.3%	5/24～25 9/27～28 各1泊2日
	第2回高遠そりすべり小中学生全国大会～自己への挑戦～  (継続)	冬の代表的な遊びであるそりを使って、子どもたちの体力・精神力の向上を促進し、遊びの楽しさを知るとともに、共通体験による親子の絆を図る。また、そりすべりのスピード競技全国大会(小・中・家族)を開催する。	小・中学生を含む家族  344/300 85.7%	2/7～8 1泊2日
妙 高	妙高フレンドスクール 「通学キャンプ」  (継続)	地元施設として、学校等と連携し通学キャンプを行い、共同宿泊生活や妙高アドベンチャー、学校間交流を通して、コミュニケーション能力や、自主性等を育成する。	地元小学生  50/50 96.0%	11/16～23 7泊8日



	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
妙高	親子ふれあいキャンプ  (継続)	新潟県教育委員会、福祉関係機関、野外教育財団と連携し、自然体験や共同宿泊体験を通して、キャンプの楽しさや仲間との触れ合いを体感させ、心理的安定ができる雰囲気作りに努める。また、保護者とのカウンセリングを通して不安や悩みの解消を図る。	母子家庭及び父子 家庭の家族  23/40 82.2%	10/11 ~ 12 1泊2日
	『雪』子どもアカデミー  (新規)	当所の立地条件や自然環境を活かし、雪中キャンプや雪中自然調査、雪を科学する体験等を通し、「雪と環境」「雪と自然」「雪と生活」等について考えさせ、雪の素晴らしさを体感させる。また、雪にかかわる様々なプログラムを開発し、総合学習や雪の降る山型施設への普及を図る。	小学3年～中学2年  40/40 85.6%	3/25 ~ 29 4泊5日
	ジュニアリーダーサミット2003  (新規)	妙高アドベンチャープログラム、リーダーサミット、意見交換等を通して、仲間との交流及びリーダーとしての資質を高め、学校内外でリーダーシップを発揮できるようにする。また、学校教育との連携・融合を図る。	地区中学生  36/30 94.2%	8/20 ~ 22 2泊3日
立山	真冬のチャレンジ・キャンプ  (継続)	立山山麓の厳冬の中でのキャンプ生活体験やかんじき登山などの雪上活動を通して自ら心と体を鍛えるとともに参加者相互の交流を深める。	小学5年～中学3年  25/30 84.0%	1/10 ~ 12 2泊3日
	わが町ものしり学習館  (継続)	地元立山町の子どもたちが町内の自然や歴史・文化、産業について実体験を通しながら学び、郷土を見直し、郷土を愛する心を育てる。	立山町在住の児童  23/20 95.2%	・10/25・11/15 ・1/17～18 ・2/21～22 1泊2日
若狭湾	チャレンジ！トビーの海に こぎだそう！  (重点事業) (継続)	自然の家の眼前に広がる若狭湾を舞台に、シーカヤックや海遊び、キャンプ生活を体験することにより、自然への理解・関心を高めたり、海に親しみ、健康でたくましい心身を育てる	小学5年～中学3年  20/20 80.0%	7/20 ~ 24 4泊5日
	トビーふれあい合宿  (新規)	家庭を離れて、集団生活を行うことにより、自主性・社会性を養う。	小学6年  58/40 94.7%	2/1 ~ 7 6泊7日
曽爾	ソニ・ウインター・ワンダー ランド  (新規)	冬の厳しい自然環境の中でさまざまな体験活動を行い、自然に対する探求心や感性を養う。	小学5年～中学生  24/30 91.7%	2/7 ~ 8 1泊2日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
曾 爾	ちびっ子冒険クラブ  (継続)	自然体験の機会が少なくなった子ども達が、曾爾の自然の中での活動を通して、自然との関わり方、自立の心、思いやりの心等を身に付ける。	小学1年～4年  72/70 97.2%	7/19～21 2泊3日
吉 備	君も宇宙博士 “きび宇宙クラブ”  (新規)	「晴れのくに岡山」と「光害」の影響の少ない吉備の夜空の特性を生かし、宇宙の素晴らしさと不思議を観察・学習する活動の中で、より身近な宇宙を体験する。また、国内屈指の天体望遠鏡を有する岡山の施設や専門家の話に触れることにより、吉備の天体の達人を育成する場とする。	小学4～6年生の児童を持つ家族 6/24 6/24 8/24 8/24 全て 100%	9/7 1日 9/11 1日 10/4～5 1泊2日 11/8～9 1泊2日
	逆説 もも太郎伝説  (新規)	「総合的な学習の時間」のプログラム開発をねらいとして、鬼の城や吉備路の史跡を訪ねながら、桃太郎と温羅(鬼)の2側面から「桃太郎伝説」の意味を探る。	小学5年～6年生  9/30 55.5%	12/20～21 1泊2日
山 口 徳 地	徳地ぼんぼこ自然学校  (新規)	学校や学年を超えた仲間とともに、様々な自然体験活動を行うことにより、思いやりの心や協調性、責任感、自主性等「生きる力」を育む。	小学生  70/70 88.3%	6/21 9/6 10/18 11/8 2/14 2/28 日帰り 7/23～24 1泊2日
	ふれあい you and me サークルとくち通学合宿  (継続)	地域の異年齢の子どもたちに様々な体験活動をさせることにより、心豊かな青少年の育成を図る。	徳地町内の小学4年～中学3年  66/30 82.1%	2/18～21 3泊4日
	わんぱくキッズチャレンジ キャンプ  (新規)	保護者のもとを離れて生活し、宿泊体験や自然体験、天体観測などを行うことにより、自然に親しむ機会とする。	小学1年～3年  34/30 84.8%	10/4～5 1泊2日
室 戸	黒潮の自然と文化を学ぶ  (継続)	室戸の海で働いてきた人々や、室戸の海や水産業に造詣が深い人々に話を聞いたり、実際に海洋体験をしたり水産業を見学・体験することにより黒潮がもたらした自然や古くから受け継がれてきた海に関わる文化や産業を学び、郷土を愛する心を育てるとともに海への関心を一層深める。	小学校高学年 48/40 97.8% 45/40 97.7% 40/40 87.5% 37/40 94.6%	4/26～27 6/14～15 7/5～6 8/25～26 各1泊2日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
室戸	ふれあい通学合宿 (継続)	家庭を離れ、集団での宿泊を伴う生活を行い自主性・社会性を育む。	地元小学校4・5・6年生 39/30 79.5%	11/9 ~ 16 7泊8日
	牟岐、幡多、室戸を結ぶ 海洋体験のつどい (継続)	海での活動を通して、高知・徳島両県の子どもたちが交流を深め社会性を身につけるとともに、海洋についての関心や探求心を育てる	小学校高学年・中学生 87/90 80.2%	8/3 ~ 5 2泊3日
夜須高原	通学キャンプ (重点事業) (継続)	夜須町内3小学校の児童で、共同生活をしながら通学をすることにより、人間関係能力、自立心、基本的な生活習慣等を育成する。	夜須町立3小学校 6年 98/100 89.2%	11/22 ~ 30 8泊9日
大隅	スプリングキャンプ (新規)	キャンプやハイキング等の野外活動を行う中で、心身のたくましさや豊かな心を養うとともに、親子の絆を深めたり、参加者相互の交流を図ったりする。	幼児～小学3年を含む 家族	4/26 ~ 27 1泊2日
	オータムキャンプ (継続)		34家族 / 25家族 27家族 / 25家族 98.1% 92.6%	10/25 ~ 26 1泊2日
	高隈連山縦走自然の旅 (継続)	野営生活をしながら冬の高隈連山縦走に挑戦し、自然の厳しさや偉大さを体得するとともに、参加者相互の友情の輪を広げ、広い心でたくましく実践力のある青少年を育てる。	中学生～高校生 25/27 96.0%	12/25 ~ 28 3泊4日
	夏だ！海にチャレンジ (重点事業) (継続)	自然豊かな錦江湾で、ゴムボートやカヌー等の様々な海での自然体験活動やキャンプ等の野外活動を通して、海浜活動の基本的な知識や技能の習得を図ると共に、心身のリフレッシュを図り、協力・助け合いの心を培う。	小学4年～中学生 51/50 98.0%	7/22 ~ 24 2泊3日
	わんぱくキッズ大集合 (継続)	当所のふれあい広場を中心に、高齢者を招待して伝承遊びをしたり昔話を聞いたりして、高齢者とのふれあいを図ると共にいろいろな野外活動を通して参加者同士の交流を図る。	小学4年～中学生 48/40 100%	11/1 ~ 3 2泊3日

## ウ 学校との密接な連携による事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日 高	少年環境調査隊  (継続)(再掲)	国立日高少年自然の家の施設や周辺の自然の環境の中で、自然体験活動や環境学習を行い、自然や環境に関する関心を高め、より理解し、自ら実践していく態度や能力を育成していく。	小学校3～6年生  71/71 95.7%	6月～10月 計83時間 各学年 毎年6回
那 須 甲 子	特殊教育学校と高等教育と少年自然の家との有機的連携に関する研究授業  (新規)(再掲)	特殊教育学校児童・生徒の自然体験や生活体験の一層の充実を図るため、少年自然の家と特殊教育学校と高等教育との有機的連携のもとに研究委員会を組織し、新しいプログラムの開発を行う。	小学部～高等部  (未実施)	通年
信 州 高 遠	自然の中で環境スクール-総合的な学習の時間実践事業-  (継続)(再掲)	社会教育施設である本少年自然の家の体験活動、周辺の自然・環境、人材、設備等の教育資源や教育力を利用し、学社融合の観点から学校教育と社会教育とがそれぞれの機能を発揮し、補完しあいながら「総合的な学習の時間」を実施する。	小学校又は中学校  205/205 100%	7/2～4 2泊3日
妙 高	自然の中で「総合」ワンダーアース ～妙高不思議探検隊～  (継続)(再掲)	「総合学習研究会議」を設置し、授業実践編と連動しながら本施設の自然環境を活用した総合的な学習の時間のプログラムを研究開発する。その成果を総合的な学習の時間の活動編としてまとめ、広報・普及に努める。	小中学生  7校/5校 延べ2082人参加 100%	通年
立 山	豊かな森からの発信！ こちらエコセンター  (継続)(再掲)	自然体験・環境学習を通して、子どもたちの「生きる力」を培うために小中学校と連携協力し、所周辺の自然とエコスクール館を活用とした「総合的な学習の時間」を推進する。	小学校・中学校  5校212人 計52回 (未実施)	臨時
若 狭 湾	トビーふれあい合宿  (新規)(再掲)	家庭を離れて、集団生活を行うことにより、自主性・社会性を養う。	福井県上中町内小学校6年生  58/40 94.7%	2/1～7 6泊7日
曾 爾	「総合的な学習の時間」を自然の中で  (継続)(再掲)	教育の土台・出発点である「自然に親しむ」ことに重点を置き、「総合的な学習の時間」(環境教育)における学社融合事業として実施する。	学校  109/109 98.2%	10/22～24 2泊3日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
室戸	ふれあい通学合宿 (継続)(再掲)	家庭を離れ、集団での宿泊を伴う生活を行い自主性・社会性を育む。	地元小学校4・5・6年生 39/30 79.5%	11/9 ~ 16 7泊8日
夜須高原	通学キャンプ (継続)(再掲)	夜須町内3小学校の児童で、共同生活しながら通学をすることにより、人間関係能力、自立心、基本的生活習慣等を育成する。	夜須町立3小学校 6年生 98/100 89.2%	11/22 ~ 30 8泊9日
諫早	学社融合「総合的な学習の時間」共同開発事業 (継続)(再掲)	少年自然の家を利用した「総合的な学習の時間」における展開について、施設と学校が共同で研究開発し、その成果を広く普及する。	諫早市立諫早小 教師5名 児童101名 (未実施)	指導者研修 7/23 宿泊学習 9/10 ~ 11 1泊2日

## エ その他少年の健全育成を図るための事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日高	少年サッカーフェスティバル (継続)	道内サッカー少年の宿泊による共同生活や交流試合、サッカー教室を通して、地域を越えたチーム間の交流を深める。	少年サッカーチーム 342/400 330/400 196/150 83.3%	5/24 ~ 25 9/27 ~ 28 11/22 ~ 23 各1泊2日
信州高遠	信州高遠22kmかち歩き大会 ~きたえよう心と身体~ (新規)	子どもから老人までの異年齢集団で22kmを飲まない・食べないで、お互いに励まし合ったり、競い合ったりしながら、飢えや乾きを体験し、同じ条件で歩き通すことによって、子ども達が忍耐や体力、集中力、社会性などを培う機会とする。	12歳以上・12歳未満(保護者同伴) 210/200 子ども 100% 大人 91.4%	11/23
若狭湾	郷土の先輩からのメッセージ (新規)	中学生の部活動に対する意欲の向上を図り、将来の夢を膨らませる。	中学1・2年、指導者 137/120 87.3%	1/10 ~ 11 1泊2日
吉備	国少旗争奪新春小学生バレーボール大会 (継続)	小学生がスポーツ活動を実施することにより、スポーツに対する興味・関心及び参加意欲を喚起し、ひいては青少年の健全育成に資するとともに少年団体活動の振興を図る。	小学生とその家族及び指導者 200/200 100%	1/10 ~ 11 1泊2日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
山口徳地	山口徳地スポーツ少年のつどい:サッカー (継続)	自然に親しみながら、運動の楽しさや喜びを味わい、個人的技能や集団的技能の習得をとおして交流を深め、児童・生徒の健全育成を図る。	サッカー (小中学生)  150/150 86.3%	7/5～6 9/13～14 11/1～2 12/13～14 各1泊2日
	山口徳地スポーツ少年のつどい:剣道 (継続)		剣道 (中学生) 439/200 (未実施)	8/25～27 2泊3日
	山口徳地スポーツ少年のつどい:空手道 (継続)		空手道 (小・中学生と保護者、一般) 175/100 92.8%	3/6～7 1泊2日
	山口徳地スポーツ少年のつどい:ドッジボール (継続)		ドッジボール (小学生) 360/192 71.1%	12/6～7 1泊2日
	オリンピック巡回指導事業:バレーボール (新規)		日本を代表するオリンピック選手(オリンピック)を招き、子どもたちへの指導や助言を通じ技術の向上はもとより、子どもたちが夢を持ってスポーツに取り組む意欲を奮起し、オリンピックへの	講演は一般も含む 中学生及び指導者 (12チーム) 163/150 98.5%
諫早	オリンピック巡回指導事業:ランニング (新規)	理解を深めるとともに、青少年の心身の健全な育成を図る。(共催:法人本部)	中学生・高校生・指導者 202/200 86.5%	2/21～22 1泊2日
室戸	冬に鍛える三四郎のつどい (継続)	四国四県の子どもたちが柔道を通じて交流を深めるとともに、各地域での学校外活動への参加意欲を一層高める。	小学生とその引率者・家族 210/200 92.3%	11/23～24 1泊2日
大隅	バドミントンフェスティバル (継続)	南九州の子どもたちがバドミントンを通じて交流を深めるとともに青少年の健全育成に資する。	小学生とその引率者・家族 240/50 (未実施)	1/24～25 1泊2日

オ 保護者を対象とした事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
那須甲子	お母さんのための「子ども発見講座」  (継続)	那須甲子少年自然の家の施設やフィールドを使い、母親が自然体験活動を行うことで、子どもとの関わり合い方を学ぶ機会とする。	平日の日中に参加できる母親 18/20 100% 17/20 100% 16/20 100%	11/25 2/18 3/10
妙高	親子ふれあいキャンプ  (継続)(再掲)	教育委員会、福祉関係機関等と連携し、自然体験や共同宿泊体験を通して、キャンプの楽しさや仲間との触れ合いを体感させ、心理的安定ができる雰囲気作りに努める。また、保護者とのカウンセリングを通して不安や悩みの解消を図る。	母子家庭及び父子家庭の家族 23/40 82.2%	10/11～12 1泊2日
曽爾	ママとキッズの子育て応援団  (継続)	子育てに悩む親が増えている中で、専門家の指導や親同士の話し合いにより、悩み解消の糸口をつかむとともに大自然の中で親子の絆を深める。	就学前の子どもと母親 8家族23 / 6家族20 91.3%	11/29～30 1泊2日
諫早	親塾  (継続)	家庭の教育力低下がさげられる今日、親の子どもへのかかわり方を見つめる機会として、参加体験型のプログラムを通し、親と子の見る目・感じ方の違いや、コミュニケーションのあり方などについて考える場とする。	小中学生を含む家族 29/15 100%	9/27～28 1泊2日

カ 公開シンポジウム等による発信・普及事業

	タイトル	ねらい	日時・場所 参加者数
妙高	「落ちこぼれてエベレスト」～冒険教育と心の教育について～	悩みを抱える青少年へのかかわり方やカウンセリングの方法等を講演や個別カウンセリングをとおして提案するとともに、長期移動型野外キャンプの有効性について広報・普及する機会とする。	平成15年7月11日 新潟県中頸城郡妙高村ふれあいパーク 1130名
那須甲子	「教育の課題と教育改革」	国公立少年自然の家の指導系職員研修の一部プログラムを公開講演会として、広く教育関係者に公開。	平成15年10月28日 西郷村文化センター 177名

	タイトル	ねらい	日時・場所 参加者数
吉備	「脳科学と教育」と自然体験 ～気になる子どもへの教育支援の糸口を探る～	集中できない、落ち着きがない、キレやすい、人と関わるのが苦手といった子どもたちが増えており、そうした子どもたちに関して、「脳科学」の研究成果から、子育て・教育方法を探る。	平成16年2月13日 岡山大学創立五十周年記念館多目的ホール 345名
夜須高原	「障害のある子の心を拓く体験活動」 ～豊かな可能性を求め～	平成13年度から3年間実施した夜須高原“いきいき”キャンプの成果を報告すると共に障害のある子どもの体験活動の機会や場を充実させる。	平成16年2月27日 九州大学医学部百年講堂 85名
信州高遠	「少年教育と体験活動」 ～その心の発達～	子ども達の精神的環境の改善に努力・工夫している教員やその他の教育関係者・親と体験活動を通して培われる少年期の心の発達について語り合う。	平成16年2月29日 神楽坂エミール 77名
山口徳地	「ボランティア養成事業」公開報告会	「少年自然の家ボランティア養成事業」における取組や成果を事例発表やパネルディスカッション、パネル写真展示で報告し、ボランティア養成のあり方の一例を示し、あわせて特別講演を行うことにより、ボランティア活動の意義や重要性について広く一般の意識を高める。	平成16年3月7日 パルトピア山口 50名



## 学校週5日制対応事業

	事業名	対象者	実施期間	参加者/ 対象者
日高	日高路森の恵みのフェスティバル (継続)	少年とその家族	5/17~18, 7/19~20, 9/20~21, 2/7~8	354 / 320
	菜才共和国大集合 (継続)	小学3年~6年	5/31~6/1, 7/19~20, 9/20~21, 2/7~8	200 / 200
	チャレンジスキー (継続)	小中学生とその家族	1/17~18 2/14~15	222 / 200
	日高山脈ネイチャーセミナー 2003  (継続)(再掲)	小中学生、地域住民	4/9, 5/25, 6/28~29, 7/21, 8/31, 9/23, 10/4, 11/22~23, 12/7, 1/25, 2/11, 3/6	257 / 240
花山	家族のつどい  (継続)	小中学生とその家族	5/24~25, 6/14~15, 7/5~6, 9/6~7, 10/11~12, 11/8~9, 12/13~14, 2/14~15, 3/13~14	491 / 450
那須 甲子	週末夢プランファミリー石窯クッキング (新規)	小中学生とその家族	11/23~24 11/29~30	111 / 100
	なすかしの森ファミリーフェスティバル (継続)	小中学生とその家族	10/11~12	3913 / 300
信州 高遠	自然の祭典 (継続)	小学5年~中学3年	10/11~13	345 / 300
	子ども自然学習隊 ~アルプスの森のひみつ~ (継続)	小学4年~中学3年 小中学生を含む家族	7/5~6	48 / 30
	木工・わら細工・炭焼き体験 ~木のぬくもりを感じよう~ (新規)	全国の小中学生を含む 家族	12/6~7	39 / 50
妙高	MYOKO光と風のフェスティバル (継続)	親子, 一般	9/20~21	1900 / 2000 日帰り888 宿泊1012
	親子で体験! 妙高の四季まるかじ り (継続)	親子, 一般	5/3~4, 6/21~22, 7/19~20, 10/11~12, 1/24~25	42 / 38家族
	妙高ジュニアレンジャースクール ~きみは森の博士~ (新規)	小学3年~中学3年	5/3~4, 8/12~13 11/1~2, 2/28~29	40 / 40

	事業名	対象者	実施期間	参加者/ 対象者
立山	みんなおいでよ立少フェスティバル (継続)	小中学生とその保護者	5 / 10 5 / 11	1070 / 400
	少年自然の家オープンデー (継続)	小中学生とその保護者	10 / 26	106 / 100
	ええぼし岩 冬のつどい (継続)	芦峯寺地区住民	12 / 13 ~ 14	121 / 100
	スターウォッチング in 立山 (継続)	小中学生とその保護者	5 / 3、5 / 17、6 / 7、 6 / 21、7 / 5、7 / 19、 9 / 6、9 / 20、10 / 4、 10 / 18、11 / 1、11 / 15、 12 / 6、12 / 20、2 / 7、 2 / 21、3 / 6、3 / 20	399 / 399
	バードウォッチング in 立山 (新規)	小中学生とその保護者	6 / 15、6 / 29、10 / 12 10 / 26、11 / 9、11 / 23	71 / 71
	森の恵みを味わうファミリーキャンプ (継続)	小・中学生とその家族	5 / 24 ~ 25	65 / 60
	木々と友だちネイチャーファミリー (継続)	小・中学生とその家族	6 / 7 ~ 8	40 / 60
	ふれあいファミリー登山 (継続)	小・中学生とその家族	9 / 27 ~ 28	43 / 60
	森のスノーフェスティバル (継続)	小・中学生とその家族	3 / 6 ~ 7	170 / 100
若狭湾	ふれあいキャンプinトビー春 (継続)	小・中学生を含む家族	4 / 26 ~ 27	52 / 50
	春本番！魚だ！漁業だ！大漁だ？ (継続)	小・中学生を含む家族 (小4年以上は子どもだけ可)	5 / 10 ~ 11	59 / 50
	梅は甘いか酸っぱいか？ 梅もぎと梅食作りに挑戦！ (継続)	小・中学生を含む家族 (小4年以上は子どもだけ可)	6 / 7 ~ 8	59 / 50
	ふれあいキャンプinトビー秋 (継続)	小・中学生を含む家族	9 / 27 ~ 28	41 / 50
	野山で楽しもう！クラフト&クッキング (新規)	小・中学生を含む家族 (小4年以上は子どもだけ可)	11 / 1 ~ 2	64 / 50
	もうすぐお正月！しめなわ作りとおもちつき (継続)	小・中学生を含む家族 (小4年以上は子どもだけ可)	12 / 20 ~ 21	70 / 50

	事業名	対象者	実施期間	参加者/ 対象者
若狭湾	おもしろ昔体験 ～昔の遊びがいっぱい～ (継続)	小・中学生を含む家族 (小4年以上は子どもだけ可)	1 / 17～18	37 / 50
	ボランティアリーダーのお兄さん・お姉さんと遊ぼう (継続)	小学4年～中学3年	2 / 21～22	66 / 50
	味わい100%！燻製だ！菌打ちだ！ (継続)	小・中学生を含む家族 (小4年以上は子どもだけ可)	3 / 6～7	57 / 50
	祭～夢空間 in トビー (継続)	子どもから大人まで	10 / 18～19	320 / 200
曽爾	【スマイル家族】 ホテルでスマイル (継続)	子どもを含む家族等	6 / 14日帰り	78 / 60
	【スマイル家族】 キャンプでスマイル <b>(新規)</b>	子どもを含む家族等	10 / 12～13	26 / 40
	【スマイル家族】 ススキでスマイル <b>(新規)</b>	子どもを含む家族等	11 / 8日帰り	56 / 50
	【スマイル家族】 キムチでスマイル <b>(新規)</b>	子どもを含む家族等	1 / 24日帰り	63 / 50
	【曽爾高原1年星組】 春の星空を見よう <b>(新規)</b>	子どもを含む家族等	5 / 10日帰り	59 / 50
	【曽爾高原1年星組】 夏の星空を見よう <b>(新規)</b>	子どもを含む家族等	7 / 19日帰り	77 / 50
	【曽爾高原1年星組】 秋の星空を見よう <b>(新規)</b>	子どもを含む家族等	10 / 18日帰り	50 / 50
	【曽爾高原1年星組】 冬の星空を見よう <b>(新規)</b>	子どもを含む家族等	12 / 20日帰り	47 / 50
	曽爾高原すすきまつり (自然の家オープンデー) (継続)	一般	10 / 25日帰り	5560 / 300

	事業名	対象者	実施期間	参加者/ 対象者
吉備	岡山吉備高原車いすふれあい ロードレース大会 (継続)	車いすランナー・健常者 ランナー	10 / 11 ~ 12	1252 / 125 2
	週末は親子でふれあきびの森 “桃太郎サンデー” (継続)	小・中学生及び家族	6 / 14 ~ 15 , 12 / 6 ~ 7	116 / 160
	少年自然の家まつり ～ チャフルデー ～ (継続)	家族、団体及び地域住 民等	10 / 25 ~ 26	宿泊113 日帰り979 / 200
山口 徳地	わんぱくキッズチャレンジキャンプ (新規)(再掲)	小学校3年生以下	10 / 4 ~ 5	34 / 30
	徳地の森ファミリーデー (継続)	親子、家族等	10 / 5	601 / 200
	第11回徳地MTB森のフェスタ (継続)	親子、グループ、 サークル	11 / 8 ~ 9	393 / 300
室戸	黒潮の自然と文化を学ぶ (継続)(再掲)	小学校高学年	4 / 26 ~ 27, 6 / 14 ~ 15, 7 / 5 ~ 6, 8 / 25 ~ 26	170 / 120
	海のフェスティバル (継続)	家族、グループ	7 / 20 ~ 21	198 / 100
	自然の家ファミリーウィーク (継続)	家族、グループ	5 / 3 ~ 5	455 / 200
	自然を楽しむ室戸塾 (新規)	小学生	11 / 29 ~ 30, 12 / 13 ~ 14 1 / 17 ~ 18, 2 / 21 ~ 22 3 / 11 ~ 12	357 / 200
	室戸くろしお祭り (継続)	家族・グループ	10 / 18 ~ 19	183 / 200
	子ども自然科学教室 (継続)(再掲)	小学校高学年・中学生	11 / 15 ~ 16	43 / 40
	親子自然科学教室 (継続)(再掲)	小学校低中学年とその家 族	12 / 6 ~ 7	38 / 40
	日本版WaterWiseヨットステップアップ 編 (重点事業)(新規)	小学校高学年・中学生	9 / 20 ~ 21, 10 / 4 ~ 5, 10 / 11 ~ 13	23 / 20
	野根山街道トレッキング (継続)	小学校高学年・中学生	10 / 25 ~ 26	20 / 40
	ファミリーキャンプ (継続)	家族・グループ	11 / 1 ~ 3	41 / 40

	事業名	対象者	実施期間	参加者/ 対象者
室戸	日本版WaterWise (継続)(再掲)	小学校高学年・中学生	6/14~15,7/5~6,9/1 3~15	101/120
	牟岐・幡多・室戸を結ぶ海洋体験のつ どい (継続)(再掲)	小学校高学年・中学生	8/3~5	87/90
夜須 高原	夜須高原ファミリーウォークデー (継続)	幼児及び小・中学生とその家 族、グループ等	10/25	221/200
	夜須町かがし祭り (継続)	幼児及び小・中学生とその家族	11/2	508/500
	冬休み思い出プラン (新規)	幼児及び小・中学生とその家 族、グループ等	12/25~30	560/600
	冬休み思い出プラン ~ゆく年くる年~ (新規)	幼児及び小・中学生とその家 族、グループ等	12/31~1/1	64/50
	夜須高原フェスティバル (継続)	幼児及び小・中学生とその家 族、グループ等	3/13~14	1295/500 日帰り929 宿泊 366
	夜須リンピック (継続)	幼児及び小・中学生とその家 族、グループ等	9/20,10/18,11/15,12 /20,1/17,2/14,3/13	535/210
諫早	春のぼかぼかキャンプ (新規)	小学生~中学生	4/26~27	76/50
	自然の家へ遊びにおいでよ (継続)	小学生	5/25	105/50
	沢ガニさんと水遊び (継続)(再掲)	小学1年~4年	7/5~6	67/60
	沢ガニさんと水遊び (継続)	小学1年~4年	7/12	102/100
	秋風さわやかデイキャンプ (新規)	小学生・中学生・家族	10/24	106/100
	施設ボランティア企画 (継続)	小学生	11/23~24	76/50
	科学のとびら (継続)	小学生	1/17~18	153/50
	春の多良岳マンサク登山 (継続)	小学生・中学生・家族	2/28~29	66/50
大隅	おおすみくん家フェスティバル (継続)	家族・グループ・団体	11/29~30	775/300

	事業名	対象者	実施期間	参加者/ 対象者
大隅	ササタデイinおおすみくん家  (継続)	家族・グループ・団体	4/19,5/17,6/21,9/ 20,10/18,12/20,1/1 7,2/21,3/20	518/450

## プログラムの開発及び普及

### ア 教育効果に関する実証的な調査研究事業

	事業名	調査研究内容
花山	青少年の社会性を育む長期体験活動「ふれあい新発見冒険隊」	子どもの長期間の自然体験活動による、小グループ内におけるコミュニケーション能力の育成
那須甲子	独り立ちへの挑戦！君がつくる144アワー	生きる力や問題解決能力の育成に関する研究
	特殊教育諸学校と高等教育と少年自然の家との有機的連携に関する研究事業	養護学校の冬季自然体験学習プログラムの開発
信州高遠	少年期に必要な体験活動と指導のあり方に問する調査研究	全国の青少年教育施設における生活体験活動の実施に関する調査に基づき指導のあり方等を研究
妙高	オープン・ザ・ドア！ ～太平洋から日本海へ～	問題行動、不登校・不登校傾向等の生徒の変容
	『雪』子どもアカデミー	長期雪中活動を通じた、児童・生徒の変容
	自然の中で「総合」ワンダー・アース	大自然の中での活動による児童・生徒の変容
	妙高フレンドスクール ～通学キャンプ～	長期生活体験や話し合い活動に取組み、コミュニケーション能力の育成
	妙高アドベンチャープログラム研究開発事業	研究開発委員会を設置し、独自のアドベンチャープログラムを開発し、学校教育への普及を図る
若狭湾	地域・人・自然から学ぶ ～若狭ふれあいの旅～	長期宿泊体験が参加者に及ぼす教育効果
吉備	サマーチャレンジin吉備	長期宿泊体験が参加者に及ぼす教育効果
	学社融合推進調査事業	自然体験活動の教育効果
室戸	日本版 School Waterwise	水辺活動の『生きる力』に与える効用
夜須高原	夜須高原“いきいき”キャンプ	障害のある子どものキャンププログラムの在り方及び支援方策
大隅	チャレンジ・ザ・キャンプ	下肢に障害のある児童・生徒が自然体験活動やキャンプ体験をすることにより、野外活動の楽しさを味わうと共に、自主性や社会性を培い、「生きる力」の基盤を作ることをねらいとした研究

## イ 事業プログラム開発

	事業名	プログラム内容
日 高	ふれあい交流キャンプ	不登校傾向にある児童生徒が、自然体験活動を行う中で交流し、社会性や協調性、忍耐力など豊かな感性と生きる力を育成するプログラム
	わくわくキャンプ イン ひだか ～あなたとわたし、そしてふれあい～	小中学校と養護学校に通う児童生徒が、自然体験活動や共同生活をしながら交流し、相互理解を図るプログラム
花 山	青少年の社会性を育む長期体験活動 「ふれあい新発見冒険隊」	長期自然体験プログラム
	家族の集い ～	四季を通じた家族での自然体験プログラム
	PAを活用したフィールドプログラム実践編	PAの手法を生かした自然体験活動プログラム
	教員のための体験学習法実践セミナー	体験学習法の普及プログラム
那須甲子	海と山を結ぶ子ども交流キャラバン	異地域の子どもの交流プログラム
	特殊教育諸学校と高等教育と少年自然の家との有機的連携に関する研究事業	障害のある子どもの自然体験活動プログラム
信州高遠	行こう雲上の世界へ ～南アルプス仙丈岳 3,033 mへの挑戦～	地域の特性を生かしながら自然から学ぶ力を養い、精神力の向上と達成感を促すプログラム
妙 高	『雪』子どもアカデミー	冬の自然環境調査や仲間との自然体験活動プログラム
	心の教育セミナー	悩みを抱える青少年への接し方やカウンセリング手法の開発
	妙高ジュニア・レンジャースクール	小学3年生から中学3年生までの異年齢集団による、四季を感じる自然体験活動プログラム
立 山	豊かな森からの発信！ こちら立山エコセンター	野外教育施設を活用した総合的学習の時間の指導方法プログラム
若 狭 湾	郷土の先輩からのメッセージ	郷土出身のオリンピックの指導による中学生のスポーツに対する意欲の向上と夢を膨らませるプログラム
曾 爾	みんなでリフレッシュ	ADHDやLDの子どもたちの自尊感情を高めるプログラム
吉 備	吉備自然探検隊カワセミクラブ	吉備の自然を生かした環境教育学習プログラム
	逆説もも太郎伝説	歴史・文化をテーマにした「総合的な学習の時間」のプログラム
	きび宇宙クラブ	「晴れの国岡山」を生かした天体観測学習プログラム
山口徳地	ハート&ハートキャンプ	自然の素晴らしさと人間関係づくりプログラム

	事業名	プログラム内容
室戸	日本版 School Waterwise ヨットステップアップ編	ヨットの普及と海への大きな夢や冒険心を育てるプログラム
	リーダートレーニング	ボランティアリーダーの養成と資質向上プログラム
夜須高原	夜須高原『自然観察会』	四季を通じた自然観察指導法プログラム
	子どもの城	施設内のフィールドを使った活動プログラムの開発
諫早	「にこにこキャンプ」	養護学校と自然の家が連携を図り、障害のある人の楽しめるプログラム
	児童生徒の社会性と対人関係を育む 心と行動セミナー I N長崎・諫早	社会性や対人関係能力が十分に身に付いていない児童生徒の状況に対応した指導・支援プログラム
	あおぞら教室	自然体験、生活体験等を通して不登校児童生徒の自立と集団への適応を図るプログラム
大隅	わんぱくキッズ大集合	国際交流・国際理解プログラム
	チャレンジ・ザ・キャンプ	障害者対応プログラム
	夏だ！海にチャレンジ	海浜活動プログラム

## 少年教育指導者研修の実施

### ア 少年教育指導者を対象とした専門性の高い研修

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
花山	全国少年団体指導者研修 自然体験活動等指導者研修 - 青少年の自然体験活動等の充実をめざして - (本部共催) <b>(新規)</b>	少年団体指導者が一同に会し、青少年の今日的な課題の協議・研修を通して、子ども達の自然体験活動の充実を図るとともに、少年団体の活動の活性化及び連携の促進を図る。	少年団体指導者 地域の青少年指導者・PTA会員・教員・青少年行政担当者・青少年教育施設職員 89/100 89.4%	11/21 ~ 23 2泊3日
	はなやまPA指導者講習会 ~スキルアップ編~  (継続)	ファシリテーターとして、実際にグループの状態にあわせプログラムを組み立て、成長に寄与するために必要な知識や技術を習得する。  ----- <(株)プロジェクトアドベンチャージャパン> ----- <自然体験活動推進協議会(CONE)>	はなやま冒険教育体験会・MAP講習会I修了者 13/20 88.9%	10/17 ~ 19 2泊3日



	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
妙高	教員のための自然体験学習 - 総合的な学習の時間と体験活動シンポジウム - (本部共催) <b>(新規)</b>	学校教育と少年自然の家における体験活動の充実を図るため、研究協議を通して、その連携方策を探る。	小中学校長・教頭・教員・青少年教育施設職員  107/100 97.2%	9/26 ~ 27 1泊2日
若狭湾	環境教育担当教員講習会(東部地区)  (継続)	小学校、中学校等における環境教育に関する指導内容、指導方法等に関する研修を行い、環境教育を担当する教員の指導力の向上を図り、学校における環境教育の一層の充実に資する。	小・中・高等学校教員、教育委員会指導主事等  72/75 93.1%	11/11 ~ 14 3泊4日
曾爾	少年教育指導者研修  (本部共催) <b>(新規)</b>	自然体験活動などの専門的な知識・指導法に関する研修を行い、野外教育指導者としての資質の向上を図る。  指導者相互の交流を深め、ネットワーク化を図る。	青少年教育施設職員、青少年団体指導者、社会教育関係者、小中・高等学校教員、教師を志す者  28/30 78.6%	9/11 ~ 14 3泊4日
山口徳地	環境教育担当教員講習会(西部地区)  (継続)	小学校・中学校等における環境教育に関する指導内容、指導方法等に関する研修を行い、環境教育を担当する教員の指導力の向上を図り、学校における環境教育の一層の充実に資する。	小・中・高等学校教員、教育委員会指導主事等  67/67 87.1%	11/25 ~ 28 3泊4日
	徳地アドベンチャー教育プログラム指導者講習会  (継続)	プロジェクトアドベンチャーの教育的手法を使って青少年を指導する場合のプログラムの組み方や具体的な指導方法、安全上の留意点等を習得させ、指導者としての資質の向上を図る。	徳地アドベンチャー教育プログラム体験会に参加した方、国立山口徳地少年自然の家プロジェクトアドベンチャー指導者認定証取得者  24/28 88.9% 24/28 90.0%	6/13 ~ 15 10/11 ~ 13 各2泊3日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
	徳地アドベンチャー教育プログラムファシリテーター研修会  (継続)	指導者としての実践的なトレーニングを行うことにより、ファシリテーション能力の向上を図る。	国立山口徳地少年自然の家プロジェクトアドベンチャー指導者認定取得者 16/28 73.3%	10/24 ~ 26 2泊3日
諫早	少年教育指導者研修 - 魅力ある事業企画と効果の検証 - (本部共催) (新規)	少年教育に携わる指導者に必要な知識や技術等の研修を通して、能力の向上を図る。	国公立施設の指導系職員、少年団体指導者、教員等 33/30 100%	2/23 ~ 26 3泊4日

#### イ 少年団体指導者等を対象とした研修

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日高	利用団体担当者事前研修会  (継続)	施設を利用する学校やその他の利用団体の企画担当者を対象として、効果的な活動プログラムの組立方や施設の利用についてプログラム相談を行う。また、プログラム体験版においては、利用頻度の高いアクティビティに関して実際に体験研修を行う。	利用団体担当者 54団体87名 (体験会7団体12名) 92.8%	4月 ~ 12月 16回各1日 (体験会2回各1泊2日含む)
	日高アドベンチャー講習会 (2回シリーズ)  (継続)	国立日高少年自然の家に設置された、プロジェクトアドベンチャー(PA)コースの活用方法、指導方法等の講習を通して、PA指導者の養成を図るとともに、PAコースの活用を図る。	学校や社会教育関係団体等の指導者 11/14 100%	6/13 ~ 15 2泊3日 8/15 ~ 17 災害のため中止
花山	はなやまPA指導者講習会 ~ フォローアップ編 ~  (継続)	PA(プロジェクトアドベンチャー)の手法や概念について基礎知識や、スキルを持った指導者を対象に、さらにその活用やファシリテーターとしての視点、グループの状況の見極めについて体験しながら学ぶ。 ----- <(株)プロジェクトアドベンチャージャパン>	はなやま冒険教育体験会・MAP講習会I修了者 18/20 100%	9/12 ~ 14 2泊3日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
花 山	青少年における奉仕活動・体験活動等支援者講習  <b>(新規)</b>	青少年の奉仕活動・体験活動の支援に必要な専門的知識や実践的技能の習得を図るとともに、研究協議や情報交換を通じて、活動支援者としての資質向上を図る。  ----- <花山村社会福祉協議会・青少年のための花山村民会議・一迫町社会福祉協議会・一迫青少年健全育成町民会議>	奉仕活動・体験活動を支援する地域指導者，ボランティア，NP0，行政担当者  21/20 100%	2/21 ~ 22 1泊2日
信 州 高 遠	教員志望の学生用 体験的学習講座  <b>(新規)</b>	教員志望の学生がさまざまな体験活動を通じて、生活の知恵や言葉・道徳心・社会性・創造する力・表現する力等を習得し学校現場に即応できる実践力・指導力の向上を図る。	教員を目指す大学生及び大学院生  15/20 (未実施)	10/26 ~ 11/8 13泊14日
	自然体験活動指導者講習会 - 子どもたちの体験活動の充実のために  <b>(継続)</b>	自然体験活動の意義を理解し、少年期に必要な体験活動について講義や実技などを通じて学び、指導者としての資質の向上をめざす。	学校教育関係者 社会教育関係者 自然体験活動に興味関心のある人  31/30 92.3%	5/16 ~ 18 2泊3日
妙 高	MYOKOプログラム体験会  <b>(新規)</b>	地域の指導者，利用団体，さらに今後の利用拡大を目指した団体等の指導者が，本少年自然の家がもつ魅力あるプログラムを体験し，指導力の向上を図るとともに，今後の利用拡大を目指す。	地域指導者，幼稚園・学校の教職員，利用団体の指導者  48/50 95.7%	4/26 日帰り
	妙高アドベンチャープログラム(MA)指導者講習会  <b>(継続)</b>	妙高アドベンチャープログラムの「指導者認定コース」「指導技術向上コースA(ローエレメント中心)」「指導技術向上コースB(ハイエレメント中心)」の3つのコースを設定し，実践を通してその効果を体感することにより，指導者の底辺拡大及び指導技術の向上を図る。  ----- <(株)プロジェクトアドベンチャージャパン>	大学生，教職員，青少年教育関係者  48/45 100%	9/13 ~ 15 2泊3日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
妙高	妙高アドベンチャープログラム(MA)ファシリテーショントレーニング  (新規)	当所の妙高アドベンチャープログラム外部指導者の資質・指導力を高めるとともに、指導者の組織体制の整備を図る。 ----- <(株)プロジェクトアドベンチャージャパン>	MA外部指導者  18/10 90.0%	5/31 ~ 6/1 1泊2日
山口徳地	徳地アドベンチャー教育プログラム体験 (3回シリーズ)  (新規)	「人間関係づくり」や「信頼する心の育成」等プロジェクトアドベンチャーが持つ教育的効果や体験学習法の理解を図る。 ----- <(株)プロジェクトアドベンチャージャパン>	アドベンチャー教育や体験学習法に興味・関心のある方  23/28 100% 30/28 100% 21/28 100%	4/19 ~ 20 5/24 ~ 25 9/27 ~ 28 各1泊2日
	実践事例報告会  (新規)	様々な青少年教育の分野における「生きる力」を育成するため、体験学習法の一手法であるプロジェクトアドベンチャーの効果的な活用方法に関する実践発表や交流会を通して、体験学習法の新たな可能性を探る。 ----- <(株)プロジェクトアドベンチャージャパン>	中国・四国・九州地区の学校教育、社会教育関係者等並びにアドベンチャー教育に興味・関心のある方  30/30 92.9%	2/14 ~ 15 1泊2日
室戸	青少年指導者のための水辺活動セミナー  (継続)	様々な水辺活動を通し、教育施設職員における水辺活動指導の資質向上を図る。 ----- <(社)日本キャンプ協会・NPO法人自然体験活動推進協議会・(財)日本マリンスポーツ普及教育振興財団・日本スノーケリング協会・日本潜水協会>	青少年教育指導者、学校教員  10/25 100%	7/27 ~ 28 1泊2日
夜須高原	少年自然の家活動プログラム研修  (継続)	夜須での自然体験活動等を効果的に実施するための企画力・指導力を身につける研修を行い、少年自然の家の教育機能の理解を図る。	利用団体担当指導者及び少年自然の家の利用を希望する人  27/36 100%	5/10 ~ 11 1泊2日

ウ 教員を対象とした体験活動を促進する研修

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
花 山	はなやま冒険教育（P A）体験会	当少年自然の家を利用する小・中学校等教員を中心に、P A（プロジェクトアドベンチャー）ロープスコースを用いた冒険教育の体験実習を行うとともに、コースの効果的な利用及び安全管理について理解を図る。	小・中学校等の利用団体指導者，小・中学校教員，自然の家職員，青少年教育関係者  19/20 100% 26/20 92.3% 18/20 100%	4/25 - 27 8/29 - 31 3/26 - 28 各 2 泊 3 日
	（継続）	<（株）プロジェクトアドベンチャージャパン>		
	P A を活用したワールドプログラム実践編  （新規）	野外炊飯や沢登り等を P A 的に活用した P A モデルプランを実施し今後の利用促進を図る。	小・中学校等の利用団体指導者，小・中学校教員，自然の家職員，青少年教育関係者  16/20 92.9%	5/9 ~ 11 2 泊 3 日
	教員のための体験学習法実践セミナー  （新規）	「自然体験と環境教育の充実」を中心にした体験学習法の基本を体験しながら、実践例に基づき研究協議を行い「総合的な学習の時間」や「特別活動」の充実に資する。	小・中学校教員，少年自然の家職員，青少年教育関係者  24/30 82.6%	8/8 ~ 10 2 泊 3 日
	教育改革と体験学習法全国ミーティング 2003 ～学校教育に生かす 体験学習法～  （重点事業）（継続）	様々な体験学習法展開の諸問題について、ワークショップ形式で研究協議と討議を行う。P A のみならず様々な体験学習法に基づく実践例を発表する。学校教育と体験学習法実践者による情報交換をとし、教育活動の展開に役立てる。 ----- <宮城県教育委員会・（株）プロジェクトアドベンチャージャパン・明治大学・（有）アウトドアエデュケーションセンター>	全国の教員及び体験学習法に興味・関心がある者  137/150 93.2%	10/31 - 11/2 2 泊 3 日
那 須 甲 子	体験学習研修会  （継続）	より多くの教員及び団体指導者等に、実践的な活動を通してなすかしの自然を生かした体験学習について理解を深め、今後の少年自然の家における体験学習の一層の充実を図る	学校教員・青少年団体指導者等  34/30 90.9%	1/31 ~ 2/1 1 泊 2 日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
妙高	ワンダー・アース ～総合学習プログラム 実践・開発セミナー～  ( 継続 )	「総合学習研究会議」を設置し、授業実践編と連動しながら本施設の自然環境を活用した総合的な学習の時間のプログラムを研究開発する。その成果を総合的な学習の時間の活動編としてまとめ、広報・普及に努める。	小・中学校の教職員及び教育関係の大学生  17/30 20/30 28/30 14/30 12/30 17/30  95.0%	5/17 6/28 7/26 9/6 10/18 2/14 各日帰り
立山	豊かな森からの発信！ 「子どもと創る総合的な学習の時間」  ( 新規 )	自然の家の特色や環境を生かし自然の中でさまざまな活動にチャレンジする冒険プログラム・自然を教材として、環境問題への理解を図る環境学習プログラム・自然の神秘にふれて科学的興味・関心を喚起する科学学習プログラム等、「総合的な学習の時間」の在り方について研修を深め、指導者としての資質を高める。	小・中・高等学校等教員，青少年団体指導者，青少年教育関係者等  19/20 22/20  100%	6/12～13 11/13～14 1泊2日
	集団登山指導者研修会 - 子どもたちに登山のすばらしさを -  ( 継続 )	集団登山の企画・運営に必要な基礎知識・技能やマナ - を身につけ、指導者としての資質を高めるとともに、立山連峰の大自然を感得する。	小・中・高等学校等教員，青少年団体指導者，青少年教育関係者等  28/30 100%	8/18～21 3泊4日
	冬の野外体験活動講習会 - 子どもたちに冬季活動の楽しさを -  ( 継続 )	冬の野外活動において安全で楽しい指導法を講習を通して学び、冬季活動の幅広い見方や楽しみ方を身に付ける。	小・中・高等学校等教員，青少年団体指導者，青少年教育関係者等  22/30 100%	1/23～25 2泊3日
曽爾	教職員のための 野外教育セミナー  ( 継続 )	子どもたちに自然体験をさせる意義やさまざまな手法について研修する。	各学校園教職員 教育委員会職員 社会教育団体の指導者等  34/40 90.9%	8/28～29 1泊2日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
吉備	脳科学と教育シンポジウム  <b>(新規)</b>	現代的課題である学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)などに関する問題にアプローチしている専門家を招き、青少年教育現場での問題解決や今後の指針が得られるようにする ----- <文部科学省・岡崎国立共同研究機構・(財)福武教育振興財団・全日本中学校長会・岡山、広島、鳥取県教育委員会・NHK岡山放送局・山陽新聞他>	青少年教育指導者、学校教育関係者等  345/300 82.3%	2/13 日帰り
夜須高原	夜須高原自然観察会 (4回シリーズ)  <b>(新規)</b>	夜須高原少年自然の家周辺に生育する植物・水生動物等を季節毎に観察・理解することにより、自然体験活動の充実と施設の利用促進を図る。	教職員・地域の指導者・教育施設職員・自然観察に興味のある人  24/36 100% 29/36 95.8% 32/36 90.9% 23/36 92.9%	5/17 9/21 12/14 各日帰り 3/20～21 1泊2日
	夜須高原野外教育指導者セミナー  <b>(継続)</b>	少年の現代的課題を踏まえ、夜須を拠点とした野外教育の実践的な活動について研究協議し、学社連携・融合を推進する。	教職員・地域の指導者・教育施設職員  40/36 94.7%	2/28～29 1泊2日
諫早	教師のための体験学習法ワークショップ (2回シリーズ)  <b>(継続)</b>	体験学習法の教育的価値を参加者自ら体験することで理解し、教育的で質の高い野外体験宿泊学習を生み出す基礎を学ぶ機会とするとともに、学校の教育活動に野外教育の新しい手法を普及する。 ----- <長崎県、佐賀県、福岡県教育委員会・(有)アウトドアエデュケーションセンター>	小・中学校の教師  45/30 35/30 97.6%	7/23 7/24 各日帰り
	児童生徒の社会性と対人関係能力をはぐくむ心と行動のセミナー N長崎・諫早 <b>(重点事業) (新規)</b>	社会性や対人関係能力が十分に身につけていない児童生徒の状況に対応した新しい教育プログラムについて、教師が参加体験することで、問題の解決促進に寄与する。	教職員等  38/30 97.1%	2/7～8 1泊2日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
大 隅	自然体験活動指導者研 修  (新規)	自然体験活動に関する教育的意義やあり方を理解し、これに必要な基礎知識や技術を習得する。	教職員・少年団 体指導者等  21/20 100%	8/18 ~ 20 2泊3日

## エ 公立施設職員を対象とした研修

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日 高	北海道青少年教育施設 職員研修会  (継続)	北海道内の国公立青少年教育施設の指導系職員が一堂に会し、青少年教育施設の現状や今日的課題について研究協議を行い、青少年教育施設職員としての資質の向上を図る。	道内青少年教育 施設職員  22/30 95.0%	10/8 ~ 10 2泊3日
那 須 甲 子	全国少年自然の家職員 等専門研修  (継続)	魅力ある少年自然の家づくりを目指し、事業運営のあり方・指導法等について研修することにより、指導系職員の専門性を高める。	全国の少年自然 の家の指導系職 員  40/30 83.9%	10/27 ~ 30 3泊4日
信 州 高 遠 ・ 妙 高 ・ 立 山	少年自然の家等職員研 修会  (継続)	青少年の学校外活動の充実のため、青少年教育施設の今日的課題について広域的な視点で協議するとともに、少年自然の家等職員の資質の向上を図る。	少年自然の家等 職員、生涯学習 担当者  30/30 100%	12/3 ~ 5 2泊3日
夜 須 高 原 ・ 諫 早 ・ 大 隅	九州地区 公立少年自然の家職員 研修  (新規)	九州地区内の国公立青少年社会教育施設における管理・運営上の諸問題について協議し、施設相互の一層の連帯等を深めるとともに、施設職員としての資質の向上を図る。	施設職員   42/42 97.2%	2/18 ~ 20 2泊3日



## ボランティアの養成・資質向上研修

### ア 養成事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日高	ボランティア・セミナー  ( 継続 )	国立日高少年自然の家でボランティア活動を行うことを希望する人に対して、ボランティア活動を行うために必要な事項についての研修を行い、青少年にボランティア活動の機会を提供する。	15歳以上の学生， 社会人でボランティア登録及び活動を希望する人 21/20 13/20 26/20  95.7%	5/30 ~ 6/1 2泊3日 7/4 ~ 6 2泊3日 3/13 ~ 14 2泊3日
花山	第25期 花山ボランティア・スクール  ( 継続 )	ボランティア活動に必要な理論と技術についての実践的な研修を行うとともに、子どもの自然体験への指導をとおして、指導者としての技術を高め、少年教育施設におけるボランティア活動に積極的に取り組む意欲を高める。	大学生・一般成人    36/30 91.7%	8/20 ~ 24 4泊5日
那須甲子	なすかしの森 ボランティアセミナー  ( 継続 )	国公立少年自然の家等におけるボランティア活動に必要な理論・知識・技術を習得し、青少年教育としてのボランティア活動の振興を図る。	大学生，高校生， 成人一般  49/40 95.7%	5/3 ~ 5 2泊3日
	外国青年のための 「少年自然の家ボランティア実践研修」 ( 4回シリーズ )  ( 継続 )	外国からの留学生等を対象に、少年自然の家でのボランティア体験を通して、日本の青少年教育施設の意義と役割について実践的に学ぶ機会を提供する。 ----- <国際学友会・ASAインターナショナル>	外国からの留学生等   9/8 (未実施)	7/25 ~ 30 7/31 ~ 8/5 8/6 ~ 11 8/12 ~ 17 各5泊6日
信州高遠	ボランティア養成講座 - 子どもたちの体験活動を支えるボランティアのつどい -  ( 継続 )	本少年自然の家での「ボランティア」の意義と役割について理解を深め、体験活動を支援しようとする意欲を育てるとともに、本少年自然の家における体験活動を支えるボランティアとしての初歩的な知識・技術及び態度を実習を交えて研修する。	信州高遠少年自然の家 の家の体験活動を支えるボランティアを志す人  37/20 73.5%	5/10 ~ 11 1泊2日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
妙高	妙高ボランティア 養成セミナー  ( 継続 )	本少年自然の家のボランティア協議会と共催で開催し、講義や実習を通してボランティアの指導力や資質の向上を図る。また、ボランティア協議会を中心にボランティア組織の充実とコーディネートシステムの整備を図る。 ----- < 妙高ボランティア協議会・上越教育大学・信州大学 >	大学生，青年，成年  32/30 100%	5/23 ~ 25 2泊3日
立山	立山少年自然の家 ボランティア 養成セミナー  ( 継続 )	講義や少年自然の家及び周辺での野外活動体験を通して、ボランティア活動に必要な知識・技能を習得する。	高校生，大学生 専修学校生等  23/20 88.9%	5/3 ~ 5 2泊3日
若狭湾	ボランティアリーダー 養成講座  ( 継続 )	青少年教育施設や子ども会などでのボランティアリーダーの役割について理解を深める。 野外活動の基礎的知識や技能を習得する。 当所でのボランティア活動を担う人材を育成する。	高校生，高等専門学校生，専修学校生，各種学校生，大学生，社会人  30/20 93.3%	5/24 ~ 25 1泊2日
曽爾	ボランティアスクール  ( 継続 )	野外活動においてボランティアが果たす基本的な役割や意義並びに技能について、ボランティア自身が企画運営に携わり研修する。	高校生相当年齢以上  17/20 88.2%	4/26 ~ 27 1泊2日
吉備	少年自然の家 ボランティア研修 ( 2回シリーズ )  ( 継続 )	ボランティアとしての知識・技術及び態度について研修し、ボランティア活動への理解を深めるとともに、ボランティア活動を実践しようとする意欲を育てる。 ----- < 自然体験活動推進協議会 ( CONE ) >	高校生・大学生及び社会人  28/30 96.4% 11/24 100%	5/23 ~ 25 11/22 ~ 24 各2泊3日
山口徳地	少年自然の家 ボランティア養成セミナー  ( 継続 )	少年自然の家で行うボランティア活動に必要な基本的知識や技能等を習得させ、施設等で活躍するボランティアを養成するとともに、参加者相互の交流を図る。	高校生、短大生、大学生、高等専門学校生、一般成人  30/20 96.7%	5/10 ~ 11 1泊2日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
室戸	自然の家ボランティア リーダー研修 山編  ( 継続 )	当所の活動についての理解を深め、指導技術の向上を図るとともに、新規ボランティア・リーダーの登録を促す。また、次年度のボランティア・リーダー登録に向け、指導技術の向上を図る。	当所ボランティア・リーダー希望者  12/30 100%	4/19 ~ 20 1泊2日
	自然の家ボランティア リーダー研修 海編  ( 継続 )		15/30 93.3%	5/24 ~ 25 1泊2日
	自然の家ボランティア リーダー研修 実践編  ( 継続 )		< ( 社 ) 日本キャンプ協会・NPO法人自然体験活動推進協議会・( 財 ) 日本マリンスポーツ普及教育振興財団 >  15/30 100%	3/20 ~ 21 1泊2日
夜須高原	少年自然の家ボランティア研修 ( 2回シリーズ )  ( 継続 )	主に夜須高原を拠点とした、野外教育活動等の指導・支援ができるボランティアの確保・育成を図る。	高校生・大学生・一般 58/36 77.4% 41/36 88.1%	5/10 ~ 11 6/14 ~ 15 各1泊2日
諫早	施設ボランティア研修  ( 継続 )	青少年教育施設の役割を理解するとともに、施設ボランティアとして活動をするための基礎的な知識や技術を習得する機会とする。	大学生以上  60/50 93.4%	5/24 ~ 25 1泊2日
大隅	ボランティアの集い ( 3回シリーズ )  ( 継続 )	ボランティア活動についての基本的な心構え等について理解するとともに、ボランティア活動の基本的な知識と技能の習得を図る。	高校生・大学生等 18/20 30/20 10/20  100%	6/29 9/14 12/20 各日帰り

イ 資質向上のための事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
花 山	花山フリースクール 第1回「プロジェクト ワイルド講座」 第2回「生態学基礎講 座」  ( 継続 )	野生生物と自然資源に対し責任のある行 動を促すために、生き物に重点をおいた環 境プログラムの体験をする。  小・中学校や青少年教育施設での環境教育 における、気づき、知識、能力及び実践力 を向上させる。	第25期花山ボラン ティアスクール修 了生、小・中学校 教員・自然の家職 員、青少年教育関 係者 第1回 42/20 第2回 18/20 97.4%	第1回 9/20 第2回 1/31 各日帰り
那 須 甲 子	ボランティア フォローアップ研修  ( 継続 )	ボランティアのフォローアップを図るた めに研修活動を行うとともに、ボランティ ア同士の意見交換や相互の交流を深める。	ボランティアセミ ナー修了者  16/15 81.3%	11/22 ~ 24 2泊3日
	ボランティア ステップアップセミナ ー  ( 継続 )	ボランティアのステップアップを図るた めに、プログラムに応じた指導技術・方法 等のより実践的な研修活動を行う。	ボランティアセミ ナー修了者  62/60 (未実施)	随時
立 山 ・ 若 狭 湾	集い語ろうボランティ アフォローアップセミ ナー (4施設ボランティア ネットワーク事業)  ( 継続 )	近隣施設で活躍する施設ボランティアが 集い、青少年の野外活動を援助・指導す るための方法や理論について実習・協議す るとともに、各施設ボランティア相互の交流 を深め、ネットワーク化を図る。	四施設(乗鞍・若 狭湾・能登・立 山) ボランティア  28/30 86.9%	8/29 ~ 31 2泊3日
吉 備	施設ボランティア ステップアップ研修  ( 継続 )	ボランティアが主体となって企画、実 施、評価等の具体的、実践的な研修を実施 することにより、ボランティアとしての資 質・技術の向上を図る。	吉備少年自然の家の 施設ボランティア  20/15 100%	7/12 ~ 13 1泊2日
	施設ボランティア交流 会(MOステーション) (年2~3回)  ( 継続 )	近隣青少年教育施設のボランティアが主 体となって企画、実施、評価等の具体的、 実践的な研修を実施することにより、ボラ ンティア相互の交流を図るとともに資質向 上を図る。	近隣青少年教育施 設ボランティア  27/60 100%	2/7 ~ 8 1泊2日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
山口徳地	ステップアップセミナー スキルアップ研修 スキルアップ研修 プログラム研修会 体験学習法研修会 障害のある子ども対象にした事業に関する研修 小学校低学年を対象にした冬の徳地キャンプ 少年自然の家 ボランティア報告会 <b>(新規)</b>	ボランティアの組織運営やマネジメント等についての研修を通して、資質の向上を図るとともに、参加者相互の交流を図る。	少年自然の家や青年の家でボランティアとして活動している人等 73/60 24/20 ~ 20/20 30/20 17/28 28/20 32/30 50/150 95.2%	5/10 ~ 11 6/21 ~ 22 1泊2日 7/12 8/6 日帰り 8/9 ~ 10 1泊2日 9/10 ~ 12 2泊3日 12/6 ~ 7 1泊2日 12/14 日帰り 12/26 ~ 27 1泊2日 3/7 日帰り
室戸	自然の家ボランティア リーダートレーニング 水辺活動実践編 <b>(新規)</b>	登録ボランティア・リーダーを対象に、自然体験・生活体験の知識及び技術、実践力・指導力を高める。	登録ボランティア リーダー 14/20 16/20 12/20 42/20 36/20 7/20 100%	4/5 ~ 6 4/12 ~ 13 5/17 ~ 18 6/21 ~ 22 6/28 ~ 29 各1泊2日 9/13 ~ 15 2泊3日
	自然の家ボランティア リーダートレーニング 野外活動実践編 <b>(新規)</b>	< (社)日本キャンプ協会・NPO法人自然体験活動推進協議会・(財)日本マリンスポーツ普及教育振興財団・日本スノーケリング協会・日本潜水協会・セーリング普及振興会 >	登録ボランティア アーリーダー 5/20 22/20 18/20 12/20 10/20 11/20 100%	9/27 ~ 28 11/8 ~ 9 12/20 ~ 21 各1泊2日 1/10 ~ 12 2/6 ~ 8 3/19 ~ 21 各2泊3日

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
諫 早	施設ボランティア研修  ( 継続 )	少年自然の家を支えるボランティアとして教育的視点を持ち、教育的アプローチのできるリーダーを育てる。 ----- <長崎県教育委員会・ホールアース自然学校>	施設ボランティア  10/30  100%	9/13 ~ 15 2泊3日
大 隅	ボランティア派遣研修  ( 新規 )	当所ボランティアを他の施設の主催事業等に派遣し、野外活動等の知識や技能のスキルアップを図るとともに、ボランティアについての資質の向上を図る。	当所ボランティア  1/1 1/1  100%	3/6 ~ 8 2泊3日 8/17 ~ 22 5泊6日